

プロセス指標（都平均・区市町村比較）

30.3公表

【東京都】胃がん検診 平成27年度プロセス指標等一覧シート

<国の指針に基づく胃がん検診の実施状況>

対象年齢（50歳以上：隔年）	
検査方法（胃部X線または内視鏡検査）	

<国の指針に基づくもの以外の実施状況>

対象年齢以外の実施	
左記以外の検査の実施	

<住民の検診受診状況>

	男性	女性	男女計
該当年齢の人口	3,301,501	3,586,194	6,887,695
（東京都調査による対象者率（東京都））	57.5%		
実際の受診者数	113,030	152,287	265,317

<区市町村の受診率向上（精検含む）体制>

対象者の名簿を作成して台帳管理	
個別に受診勧奨	
過去5年間の受診歴を記録	
精検未受診者への精検受診勧奨	

<がん検診の質を評価する指標（プロセス指標）>

	あるべき値 （許容値等）	男性	女性	男女計
受診率	目標値50%	5.9%	7.4%	6.7%
要精検率	11%以下	11.4%	8.3%	9.6%
精検受診率	70%以上	71.6%	74.5%	73.0%
精検未把握率	10%以下	24.8%	22.9%	23.9%
精検未受診率	20%以下	3.5%	2.6%	3.1%
陽性反応適中度	1.0%以上	1.8%	0.6%	1.2%
がん発見率	0.11%以上	0.20%	0.05%	0.12%

* 足立区・町田市・利島村・神津島村・青ヶ島村・小笠原村は胃部X線検査の実施がないため集計には含まない。

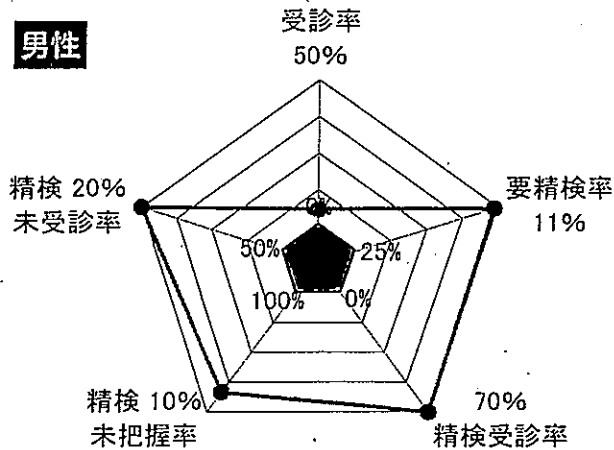
プロセス指標についての解説

リンク先:「とうきょう健康ステーション」>

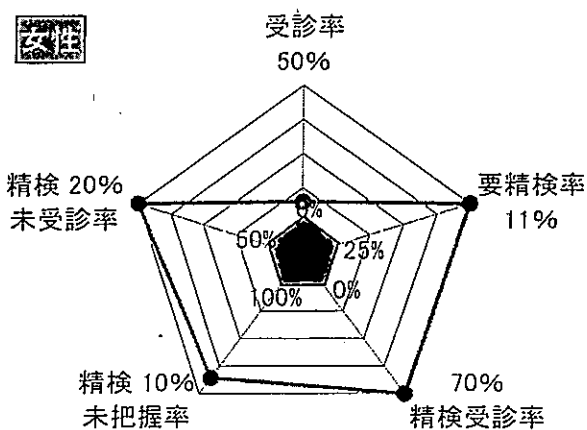
「統計に用いる主な比率及び用語の解説」

<http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/kensui/gan/toukei/data/kaisetu.html>

男性



女性



【評価結果】

<受診率>

『効果的ながん検診受診率向上の手引き』等を参考にして、受診率50%を目指す必要があります。

<要精検率>

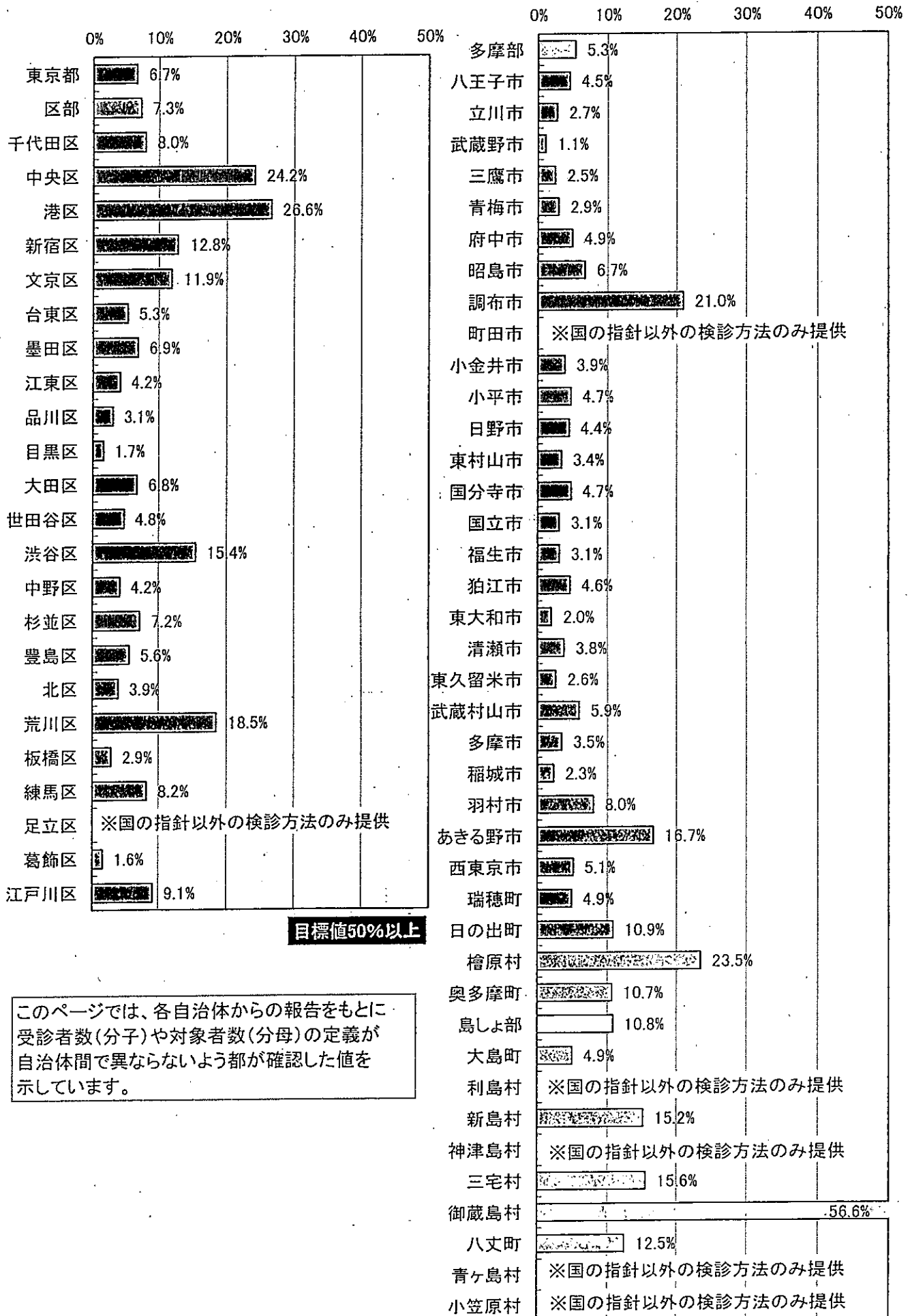
要精検率が高くなるほど、「要精検」といわれたが実際にはがんではなかった方（偽陽性）の割合が増える可能性があり、受診者に身体的・経済的・精神的負担をかけるなど、検診の不利益が拡大する恐れがあります。また、受診者特性の変化により要精検率が高くなる場合もあります。

<精検未把握率>

高めの精検未把握率です。自治体が行う対策型検診として、事業評価のために『要精検』となった方々のその後の状況把握が必要です。

※国の指針に基づく胃がん検診の実施状況<国の指針に基づくもの以外の実施状況><区市町村の受診率向上（精検含む）体制>は平成28年度の状況である

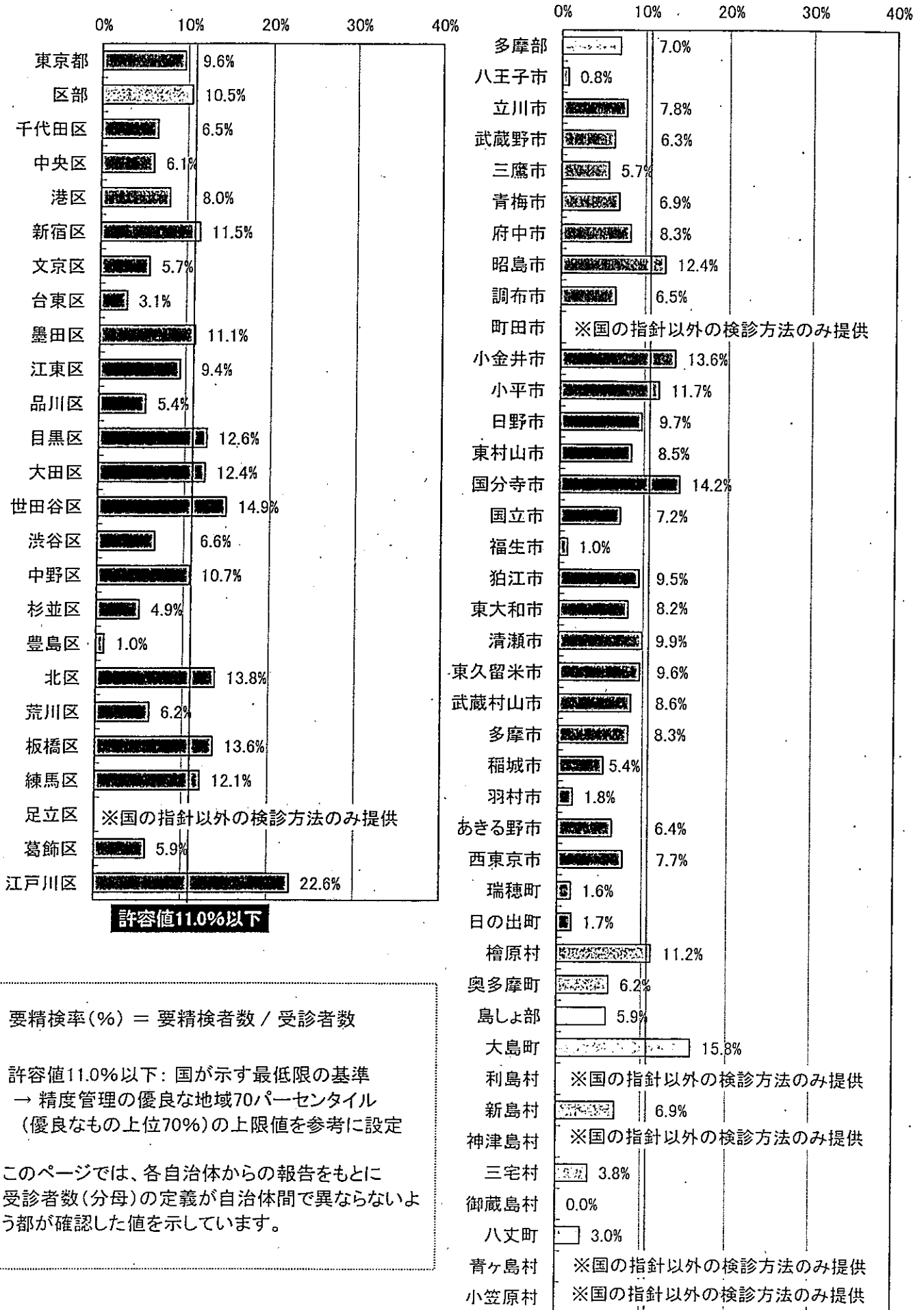
胃がん検診 受診率(平成27年度, 男女計)



このページでは、各自治体からの報告をもとに受診者数(分子)や対象者数(分母)の定義が自治体間で異ならないよう都が確認した値を示しています。

目標値50%以上

胃がん検診 要精検率(平成27年度, 男女計)



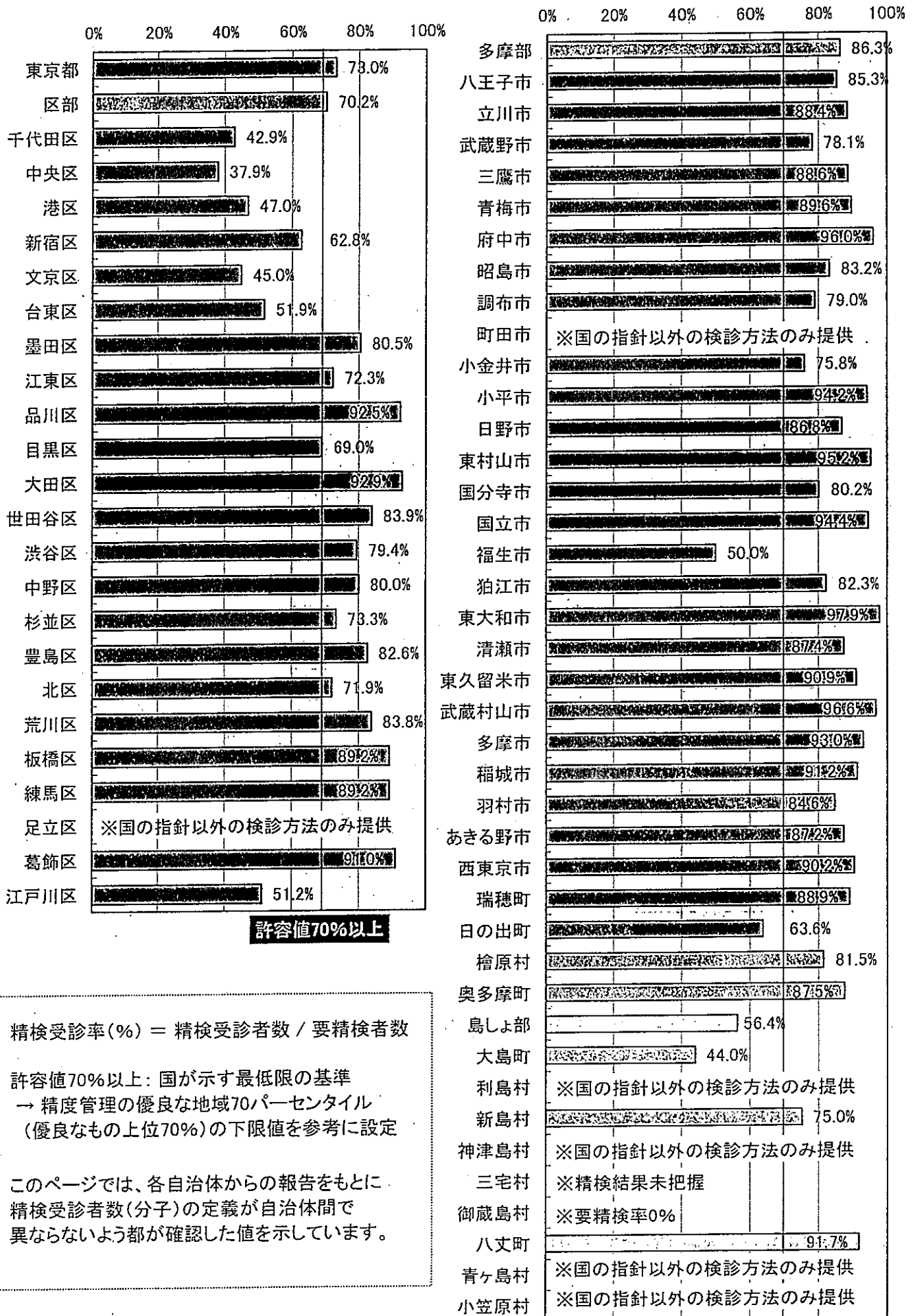
許容値11.0%以下

要精検率(%) = 要精検者数 / 受診者数

許容値11.0%以下: 国が示す最低限の基準
 → 精度管理の優良な地域70パーセンタイル
 (優良なもの上位70%)の上限値を参考に設定

このページでは、各自治体からの報告をもとに
 受診者数(分母)の定義が自治体間で異なるよう
 すが確認した値を示しています。

胃がん検診 精検受診率(平成27年度, 男女計)



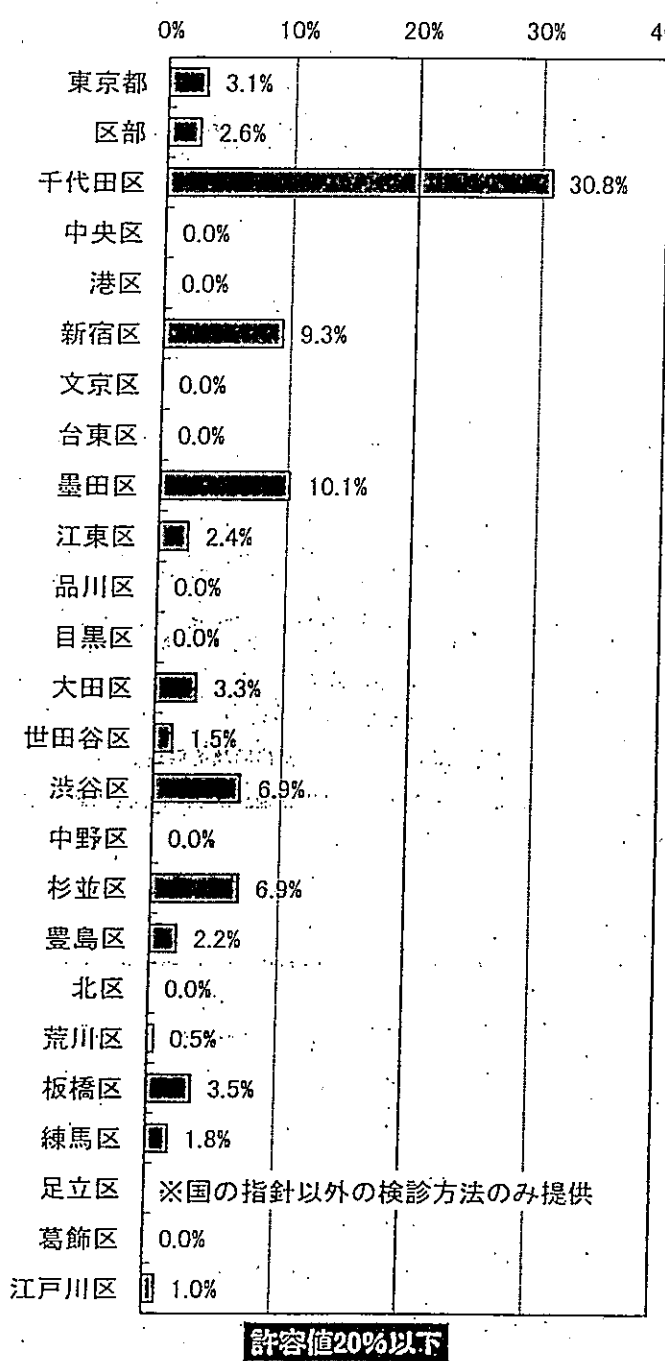
許容値70%以上

精検受診率(%) = 精検受診者数 / 要精検者数

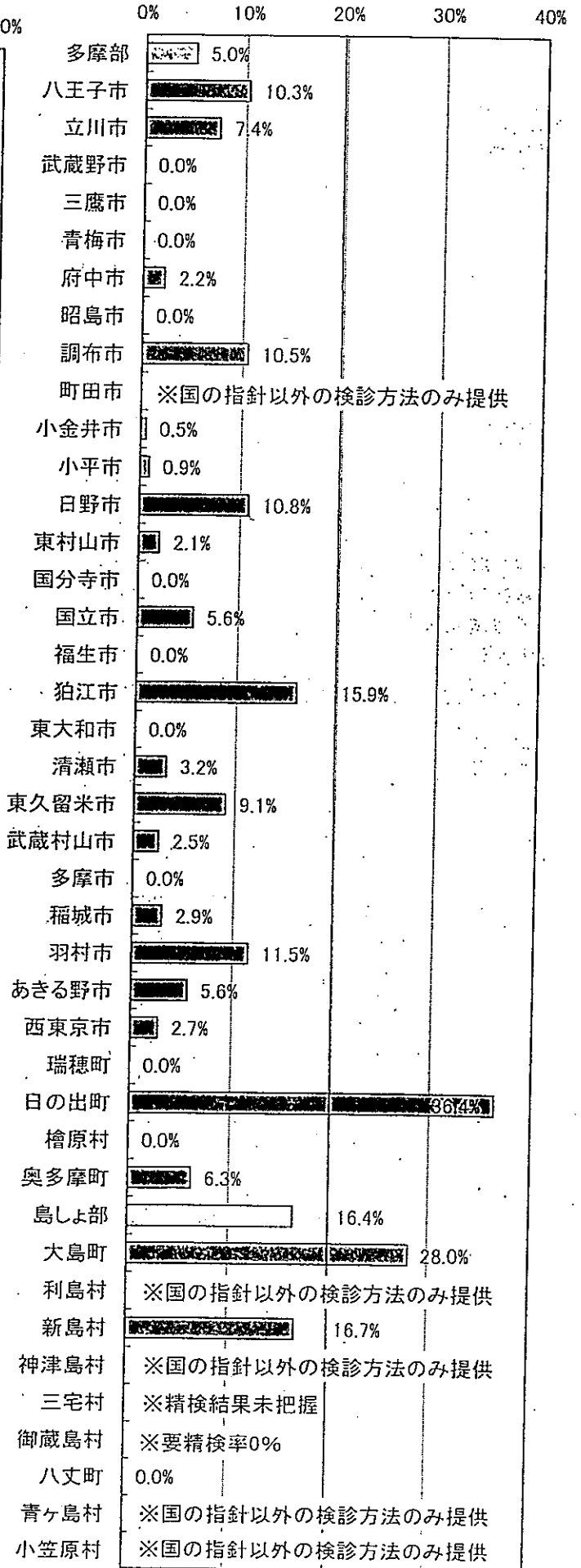
許容値70%以上: 国が示す最低限の基準
 → 精度管理の優良な地域70パーセンタイル
 (優良なもの上位70%)の下限値を参考に設定

このページでは、各自治体からの報告をもとに
 精検受診者数(分子)の定義が自治体間で
 異ならないよう都が確認した値を示しています。

胃がん検診 精検未受診率(平成27年度, 男女計)



許容値20%以下

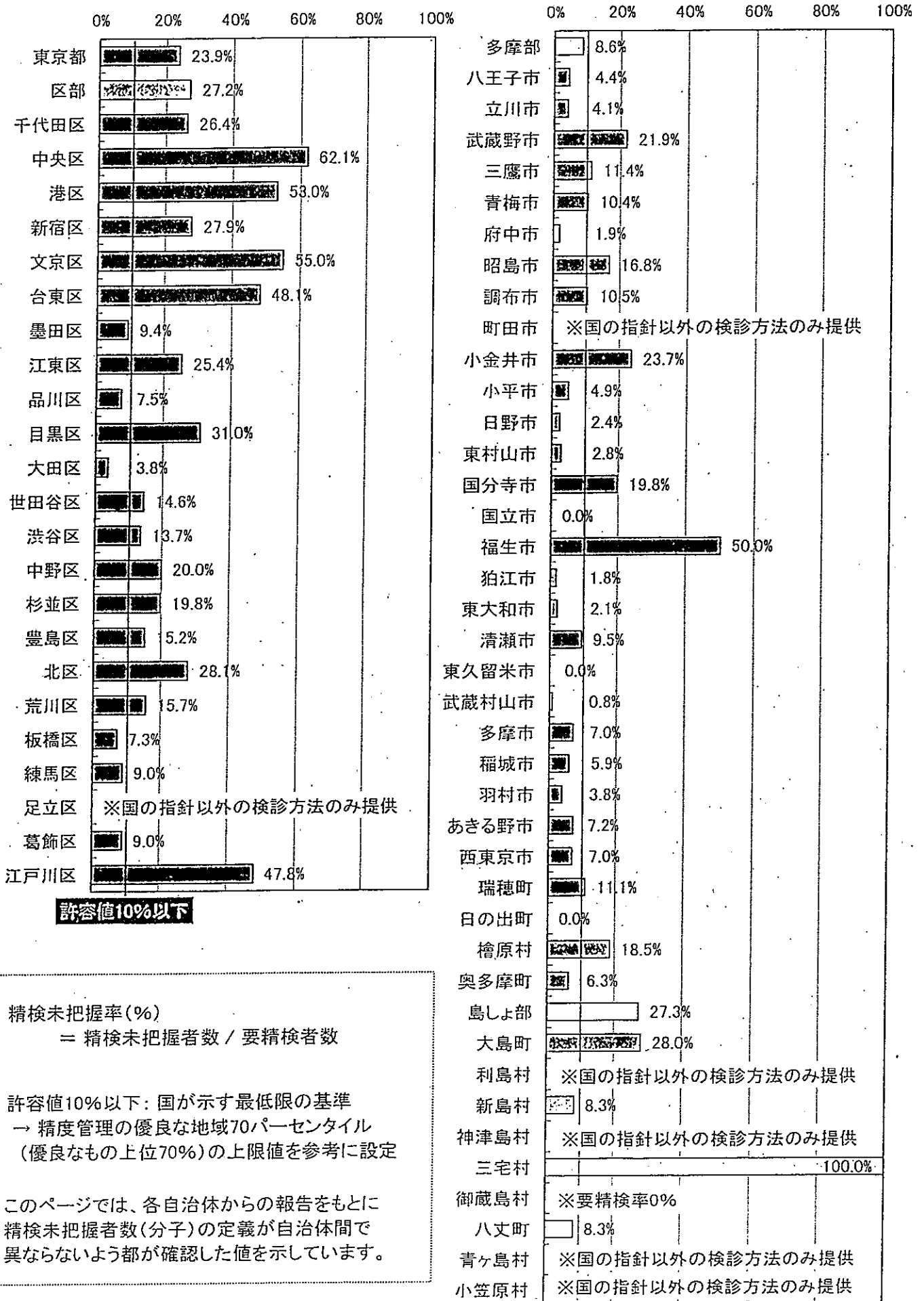


精検未受診率(%)
 = 精検未受診者数 / 要精検者数

許容値20%以下; 国が示す最低限の基準
 → 精度管理の優良な地域70パーセンタイル
 (優良なもの上位70%)の上限値を参考に設定

このページでは、各自治体からの報告をもとに
 精検未受診者数(分子)の定義が自治体間で
 異なるよう都が確認した値を示しています。

胃がん検診 精検未把握率(平成27年度, 男女計)



許容値10%以下

精検未把握率(%)

= 精検未把握者数 / 要精検者数

許容値10%以下: 国が示す最低限の基準
 → 精度管理の優良な地域70パーセンタイル
 (優良なもの上位70%)の上限値を参考に設定

このページでは、各自治体からの報告をもとに
 精検未把握者数(分子)の定義が自治体間で
 異ならないよう都が確認した値を示しています。

【 東京都 】 肺がん検診 プロセス指標等一覧シート

<国の指針に基づく肺がん検診の実施状況>

対象年齢(40歳以上)	
検査方法(胸部X線検査及び喀痰細胞診)	

<国の指針に基づくもの以外の実施状況>

対象年齢以外の実施	
左記以外の検査の実施	

<住民の検診受診状況>

	男性	女性	男女計
該当年齢の人口	3,238,899	3,504,774	6,743,673
【東京都調査による対象者率(東京都)】	164.8%		
実際の受診者数	179,453	253,132	432,585

<区市町村の受診率向上(精検含む)体制>

対象者の名簿を作成して台帳管理	
個別に受診勧奨	
過去5年間の受診歴を記録	
精検未受診者への精検受診勧奨	

<がん検診の質を評価する指標(プロセス指標)>

	あるべき値(許容値等)	男性	女性	男女計
受診率	目標値50%	8.5%	11.1%	9.9%
要精検率	3%以下	2.8%	2.0%	2.3%
精検受診率	70%以上	69.0%	71.4%	70.2%
精検未把握率	10%以下	27.8%	26.3%	27.0%
精検未受診率	20%以下	3.2%	2.3%	2.8%
陽性反応適中度	1.3%以上	3.1%	1.6%	2.4%
がん発見率	0.03%以上	0.09%	0.03%	0.05%

* 文京区、中野区、北区、町田市は未実施のため集計には含まない。
 * 稲城市(胸部CT検査)、日の出町・大島町(胸部X線のみ)は集計に含まない。
 * 豊島区は「胸部XP+CT+喀痰細胞診」を実施のため、利島村は要精検者数未把握のため、要精検率以降の集計からは除いている。

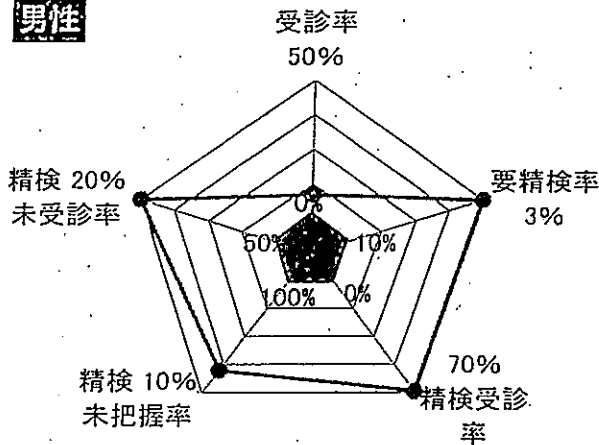
プロセス指標についての解説

リンク先:「とうきょう健康ステーション」>

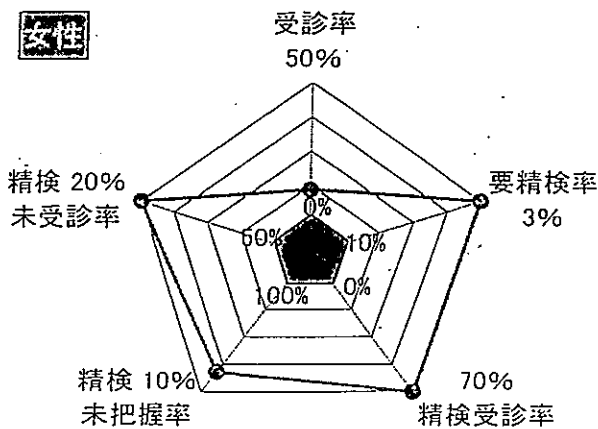
「統計に用いる主な比率及び用語の解説」

<http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/kensui/gan/toukei/data/kaisetu.html>

男性



女性



【評価結果】

<受診率>

『効果的ながん検診受診率向上の手引き』等を参考にして、受診率50%を目指す必要があります。

<精検受診率>

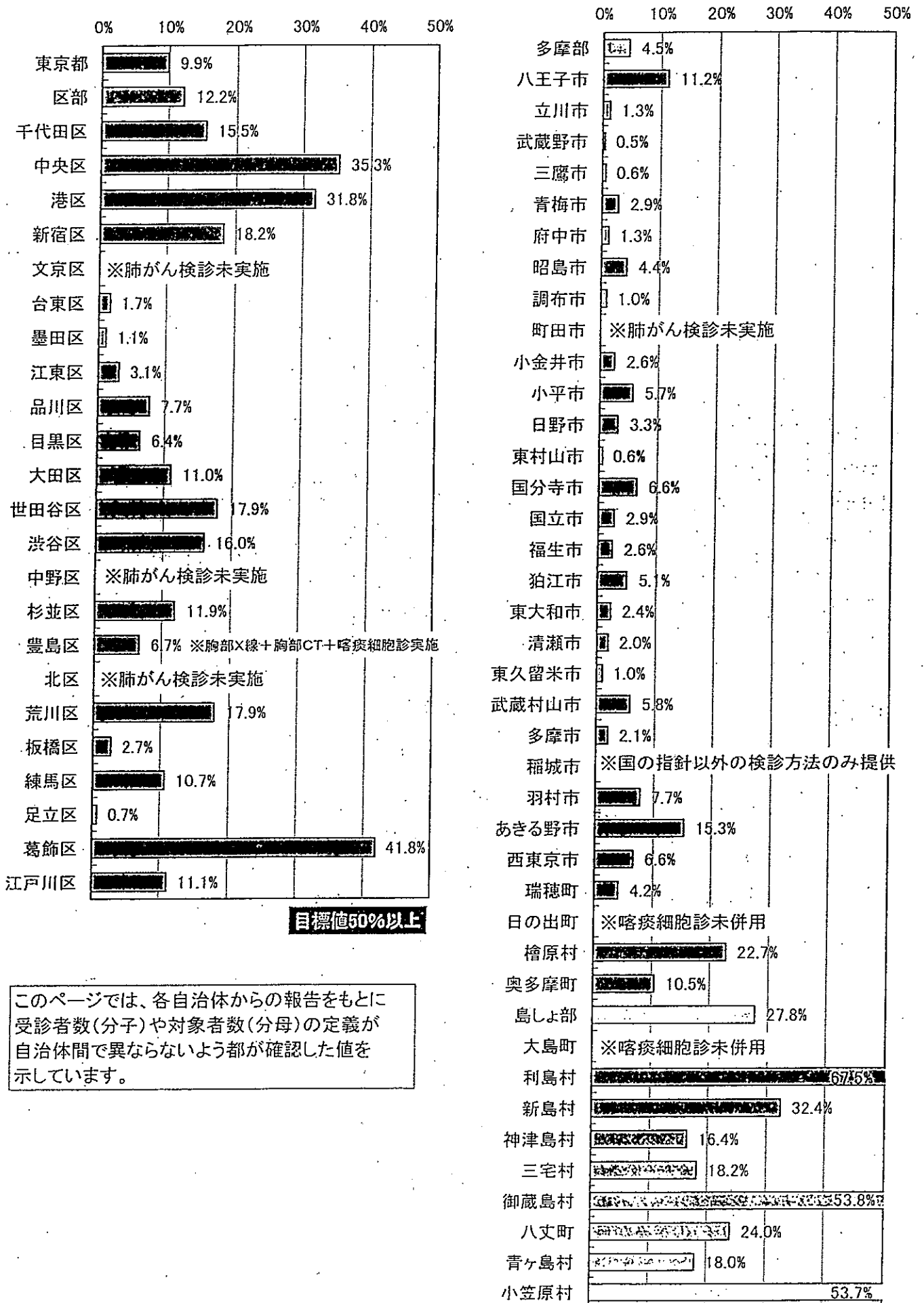
まずは許容値以上となるように、精検受診勧奨を行ってください。

<精検未把握率>

高めの精検未把握率です。自治体が行う対策型検診として、事業評価のために『要精検』となった方々のその後の状況把握が必要です。

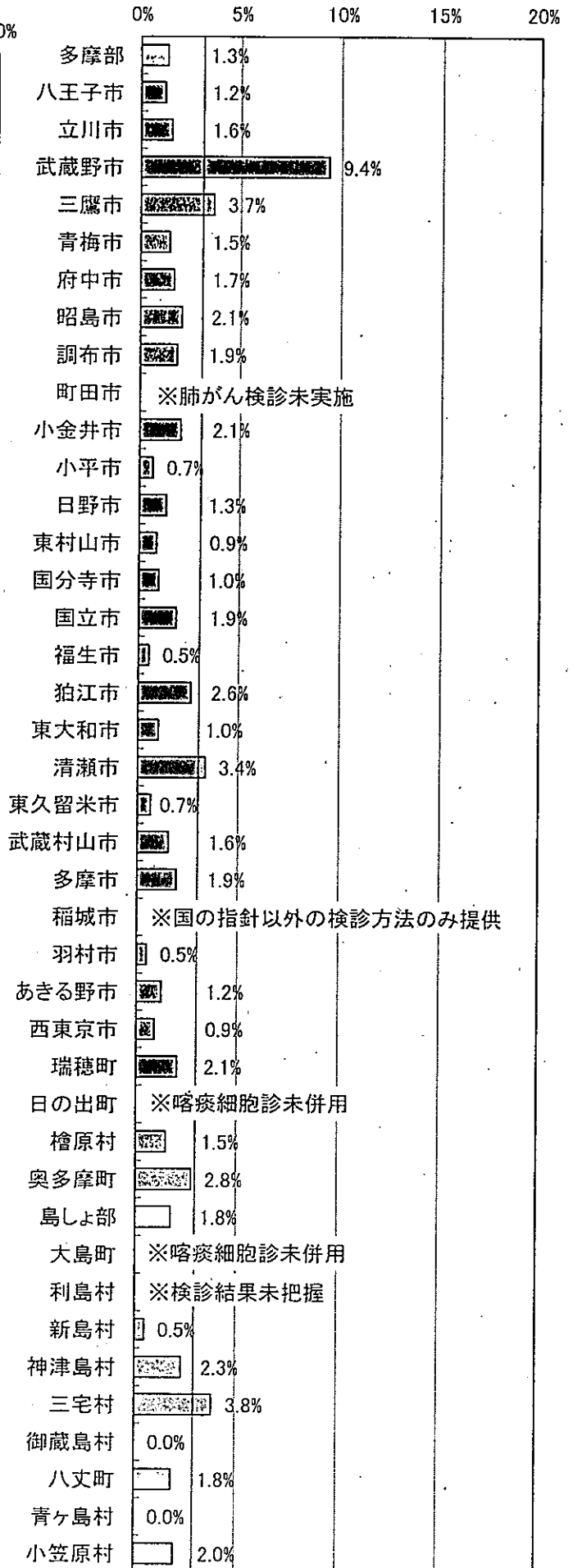
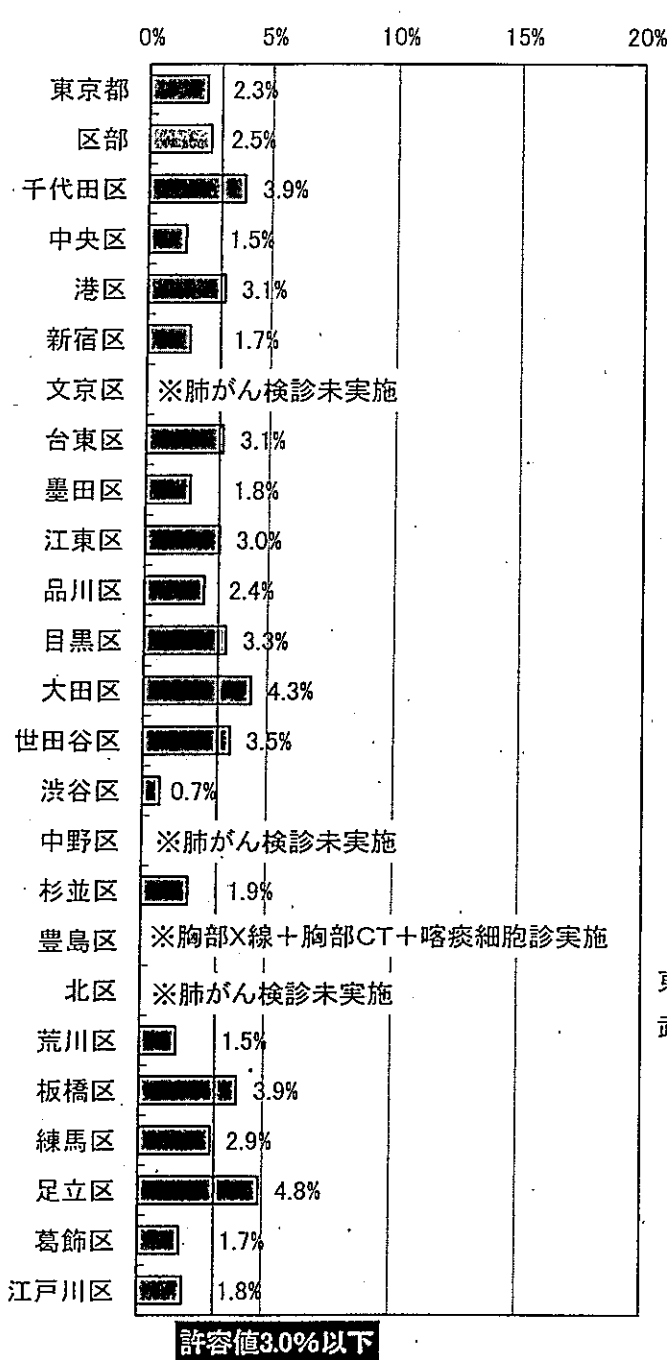
※(国の指針に基づく肺がん検診の実施状況)(国の指針に基づくもの以外の実施状況)(区市町村の受診率向上(精検含む)体制)は平成28年度の状況である

肺がん検診 受診率(平成27年度, 男女計)



このページでは、各自治体からの報告をもとに受診者数(分子)や対象者数(分母)の定義が自治体間で異ならないよう都が確認した値を示しています。

肺がん検診 要精検率(平成27年度, 男女計)

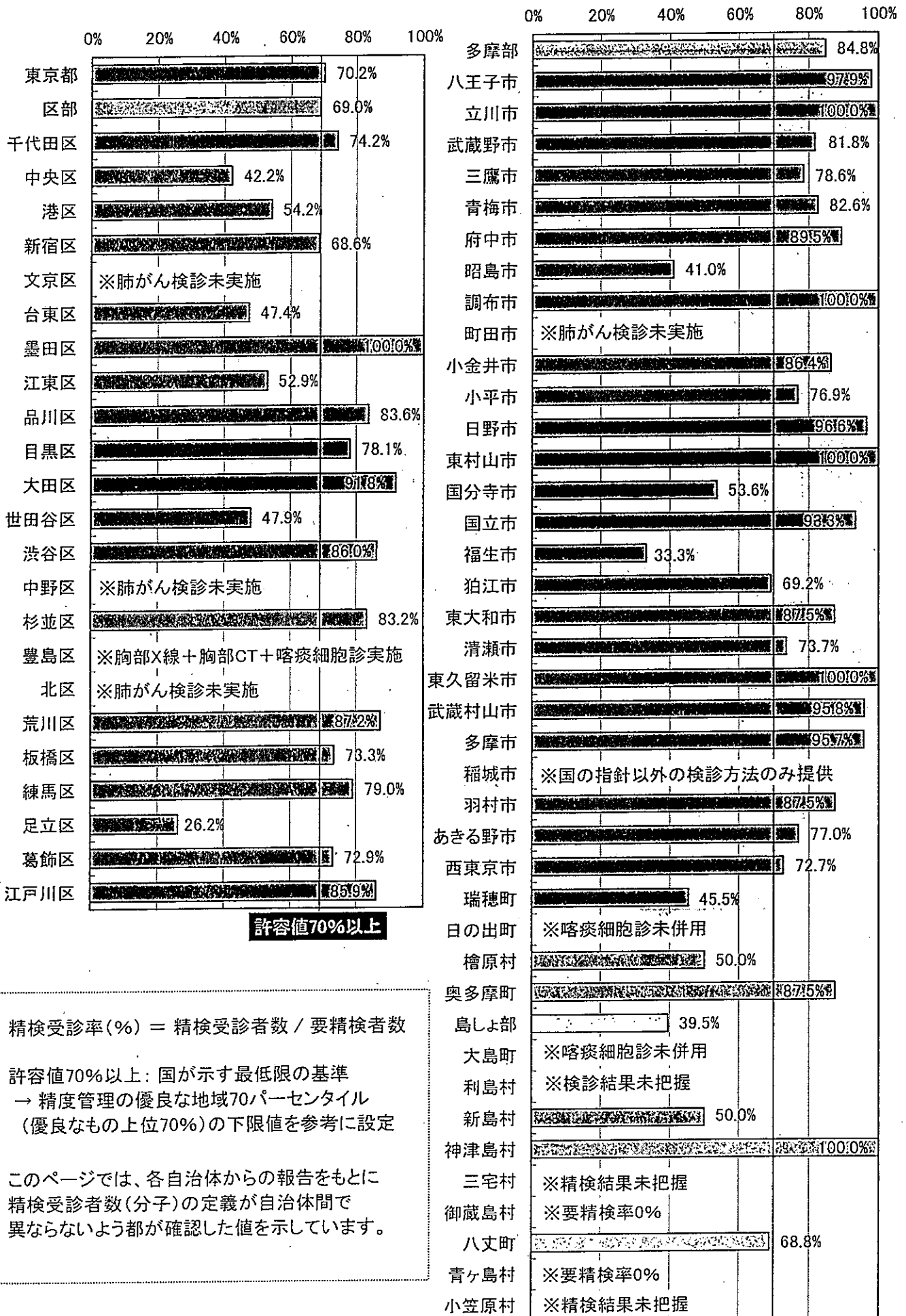


要精検率(%) = 要精検者数 / 受診者数

許容値3.0%以下: 国が示す最低限の基準
 → 精度管理の優良な地域70パーセンタイル
 (優良なもの上位70%)の上限値を参考に設定

このページでは、各自治体からの報告をもとに
 受診者数(分母)の定義が自治体間で異なるよう
 都が確認した値を示しています。

肺がん検診 精検受診率(平成27年度, 男女計)



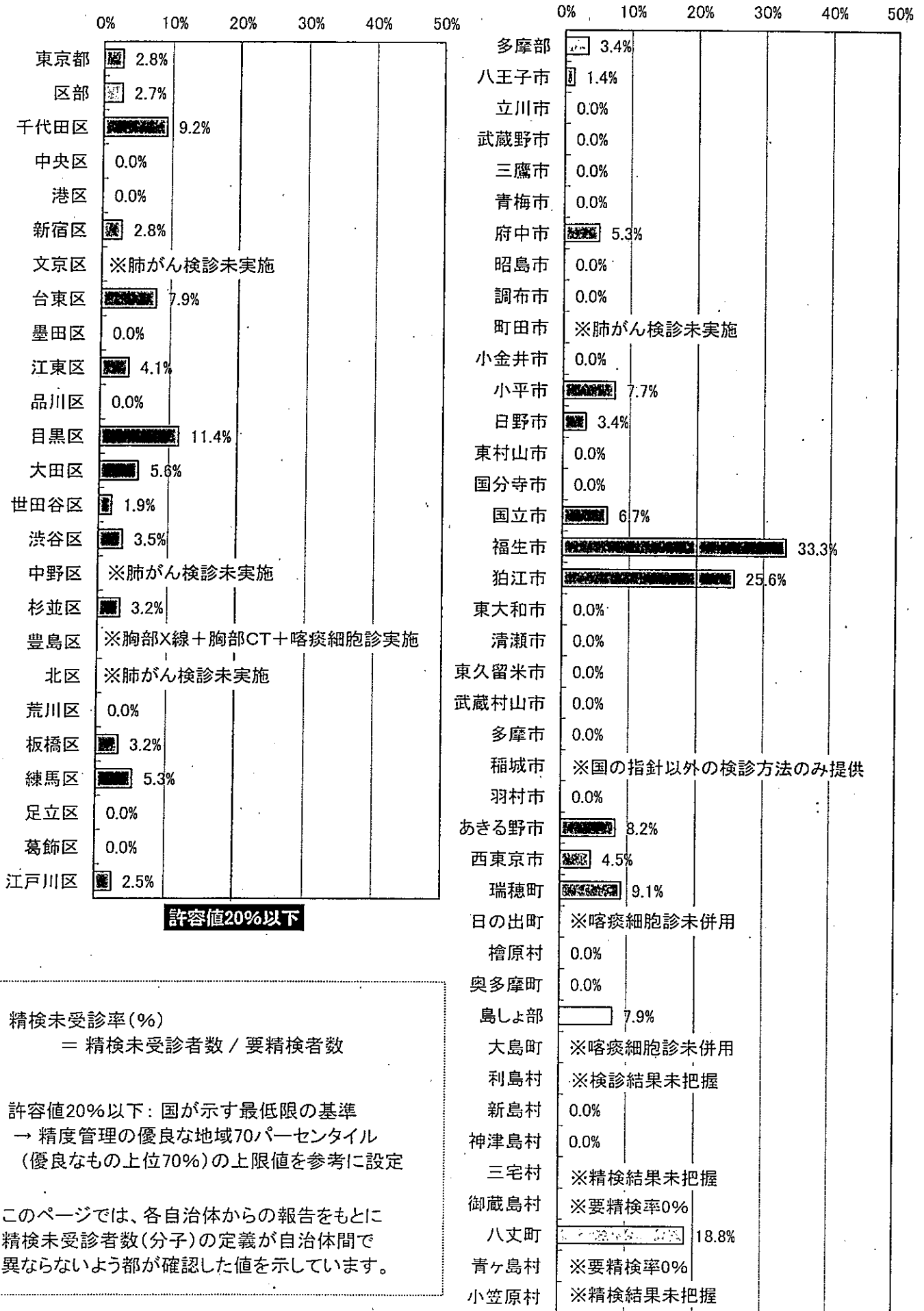
許容値70%以上

精検受診率(%) = 精検受診者数 / 要精検者数

許容値70%以上: 国が示す最低限の基準
 → 精度管理の優良な地域70パーセンタイル
 (優良なもの上位70%)の下限値を参考に設定

このページでは、各自治体からの報告をもとに
 精検受診者数(分子)の定義が自治体間で
 異なるよう都が確認した値を示しています。

肺がん検診 精検未受診率(平成27年度, 男女計)



許容値20%以下

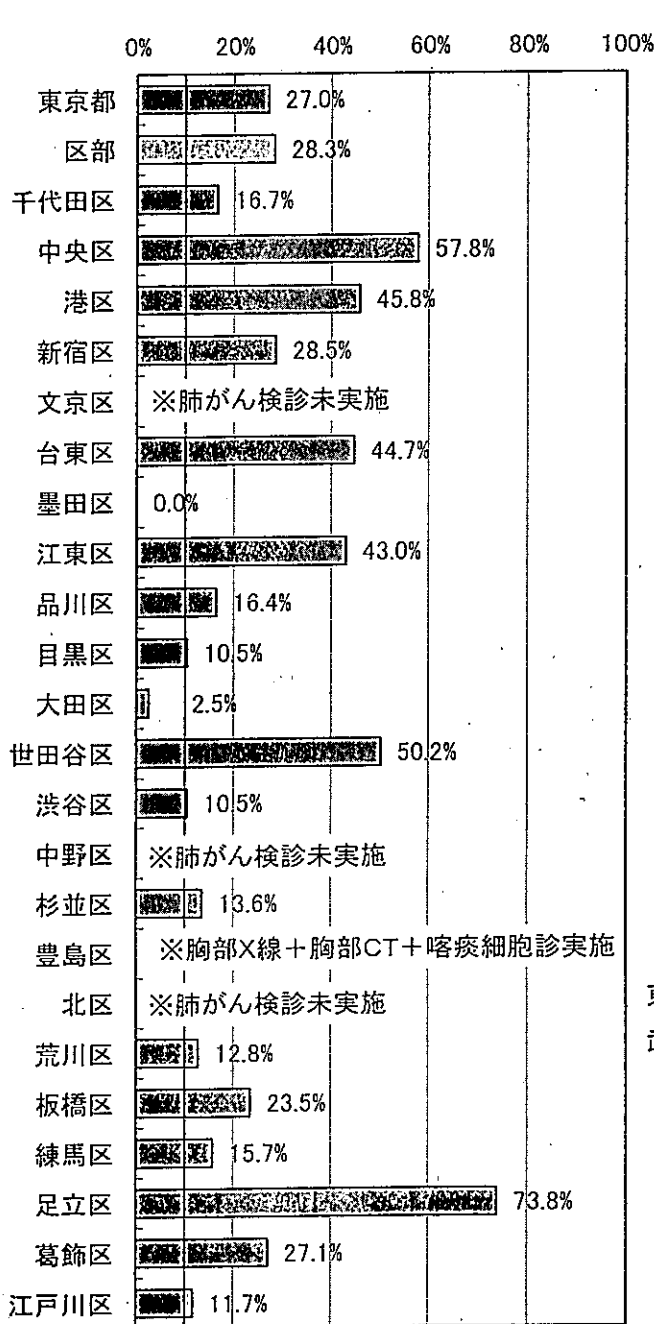
精検未受診率(%)

$$= \text{精検未受診者数} / \text{要精検者数}$$

許容値20%以下: 国が示す最低限の基準
 → 精度管理の優良な地域70パーセンタイル
 (優良なもの上位70%)の上限値を参考に設定

このページでは、各自治体からの報告をもとに
 精検未受診者数(分子)の定義が自治体間で
 異ならないよう都が確認した値を示しています。

肺がん検診 精検未把握率(平成27年度, 男女計)



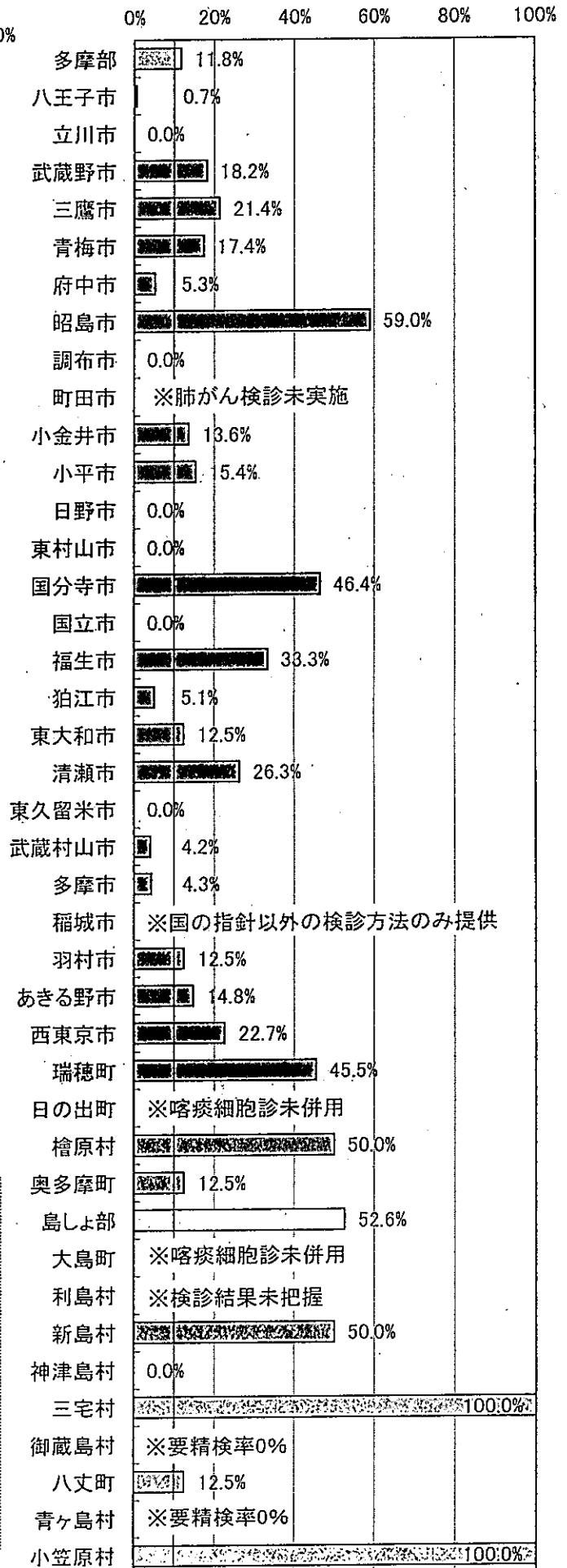
許容値10%以下

精検未把握率(%)

= 精検未把握者数 / 要精検者数

許容値10%以下: 国が示す最低限の基準
→ 精度管理の優良な地域70パーセントイル
(優良なもの上位70%)の上限値を参考に設定

このページでは、各自治体からの報告をもとに
精検未把握者数(分子)の定義が自治体間で
異ならないよう都が確認した値を示しています。



(平成29年度東京都がん検診精度管理評価事業)

【東京都】大腸がん検診 平成27年度プロセス指標等一覧シート

<国の指針に基づく大腸がん検診の実施状況>

対象年齢（40歳以上）	
検査方法（便潜血検査（二日法））	

<住民の検診受診状況>

	男性	女性	男女計
該当年齢の人口	3,618,086	3,920,867	7,538,953
【東京都調査による対象者率（東京都）】	61.3%		
実際の受診者数	417,229	671,869	1,089,098

<国の指針に基づくもの以外の実施状況>

対象年齢以外の実施	
左記以外の検査の実施	

<区市町村の受診率向上（精検含む）体制>

対象者の名簿を作成して台帳管理	
個別に受診勧奨	
過去5年間の受診歴を記録	
精検未受診者への精検受診勧奨	

<がん検診の質を評価する指標（プロセス指標）>

	あるべき値 （許容値等）	男性	女性	男女計
受診率	目標値50%	18.8%	27.9%	23.5%
要精検率	7%以下	10.1%	7.1%	8.2%
精検受診率	70%以上	56.0%	57.4%	56.8%
精検未把握率	10%以下	32.8%	32.1%	32.4%
精検未受診率	20%以下	11.2%	10.5%	10.8%
陽性反応適中度	1.9%以上	3.6%	2.7%	3.1%
がん発見率	0.13%以上	0.36%	0.19%	0.26%

* 利島村は要精検者数未把握のため、要精検率以降の集計からは除いている。

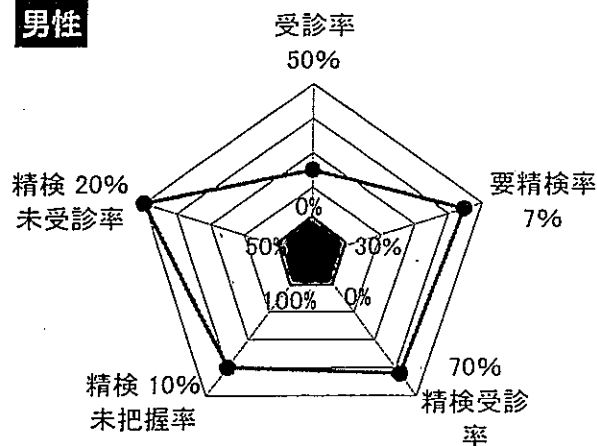
プロセス指標についての解説

リンク先:「とうきょう健康ステーション」>

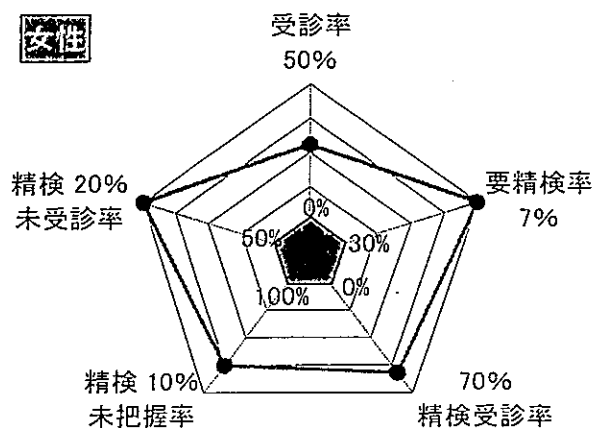
「統計に用いる主な比率及び用語の解説」

<http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/kensui/gan/toukei/data/kaisetu.html>

男性



女性



【評価結果】

<受診率>

『効果的ながん検診受診率向上の手引き』等を参考にして、受診率50%を目指す必要があります。

<要精検率>

要精検率が高くなるほど、「要精検」といわれたが実際にはがんではなかった方（偽陽性）の割合が増える可能性があり、受診者に身体的・経済的・精神的負担をかけるなど、検診の不利益が拡大する恐れがあります。また、受診者特性の変化により要精検率が高くなる場合もあります。

<精検受診率>

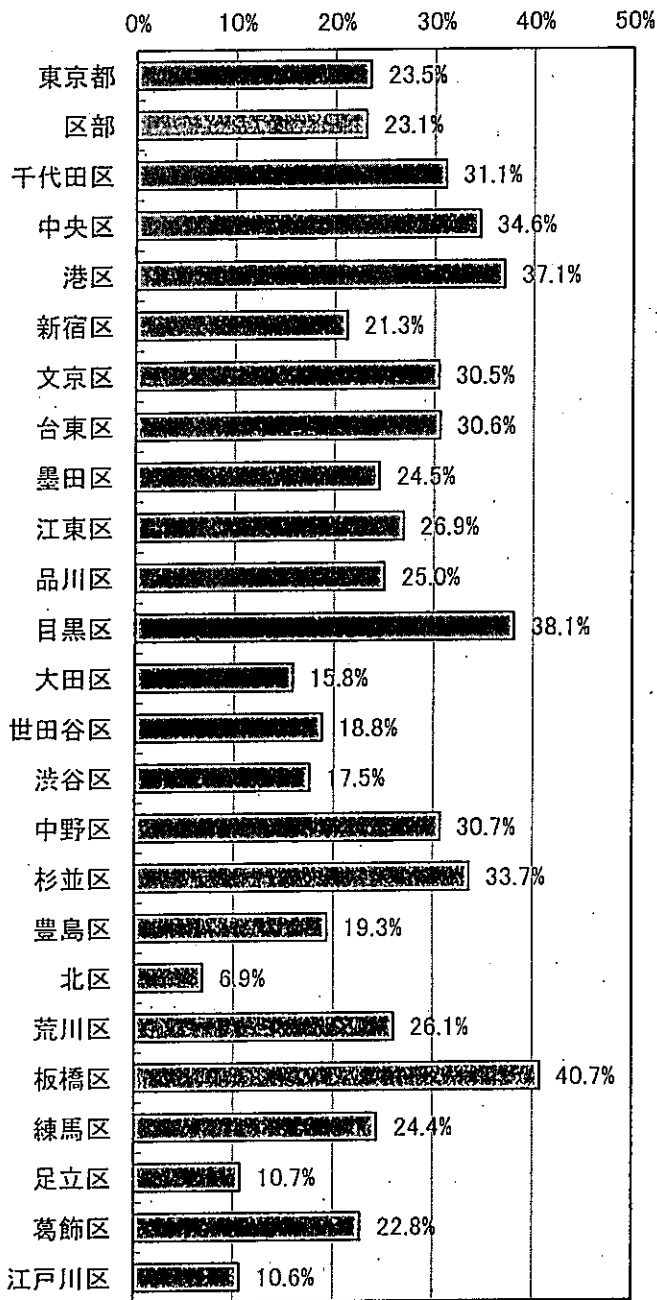
まずは許容値以上となるように、精検受診勧奨を行ってください。

<精検未把握率>

精検未把握率が非常に高く、自治体が行う対策型検診としての事業評価が困難です。『がん検診精度管理向上の手引き』等を参考にして問題点を整理し、精密検査結果の把握方法を検討してください。

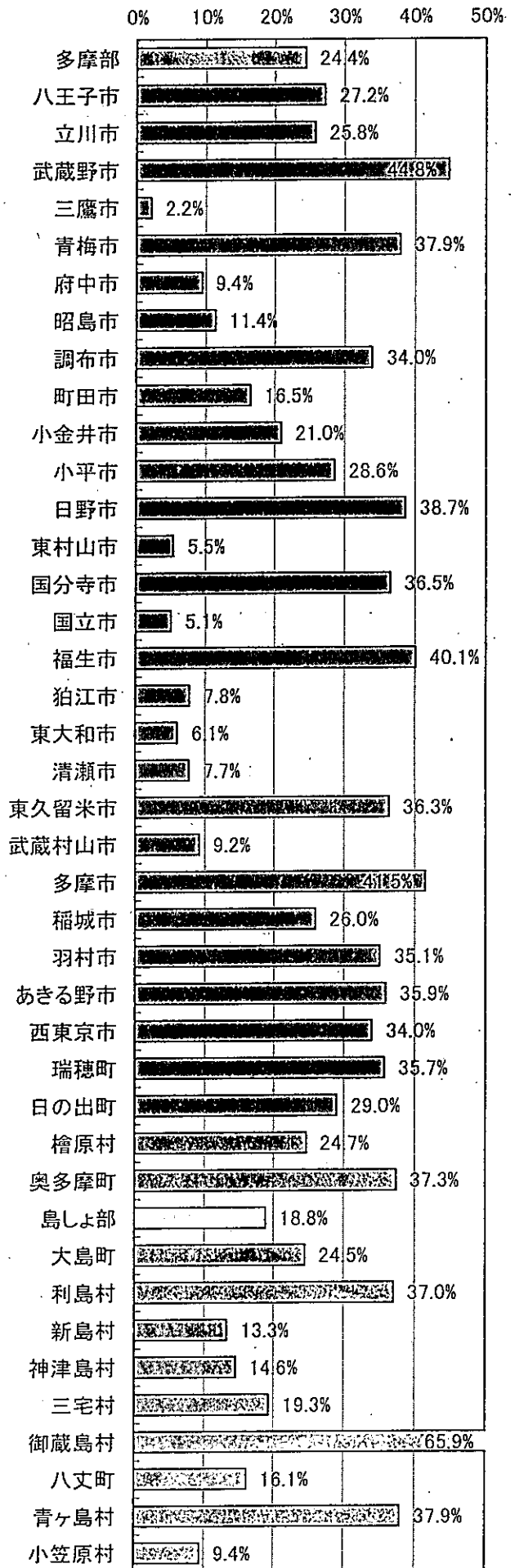
※<国の指針に基づく大腸がん検診の実施状況><国の指針に基づくもの以外の実施状況><区市町村の受診率向上（精検含む）体制>は平成28年度の状況である

大腸がん検診 受診率(平成27年度, 男女計)



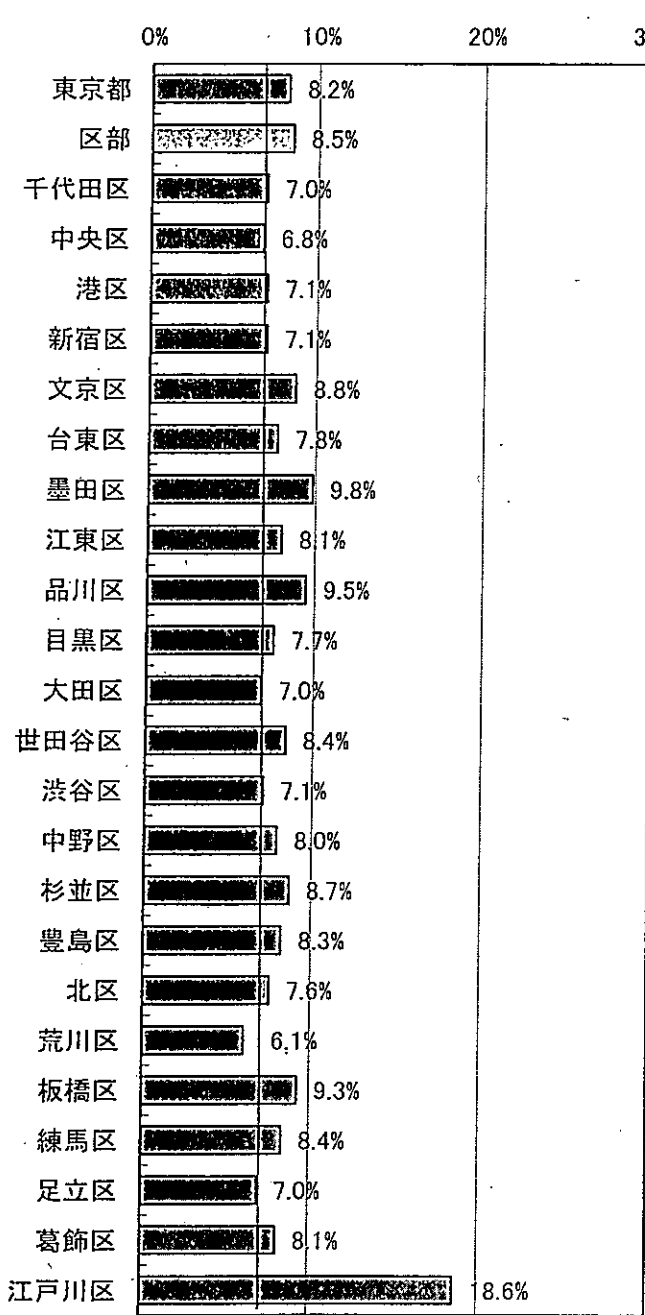
目標値50%以上

このページでは、各自治体からの報告をもとに受診者数(分子)や対象者数(分母)の定義が自治体間で異ならないよう都が確認した値を示しています。

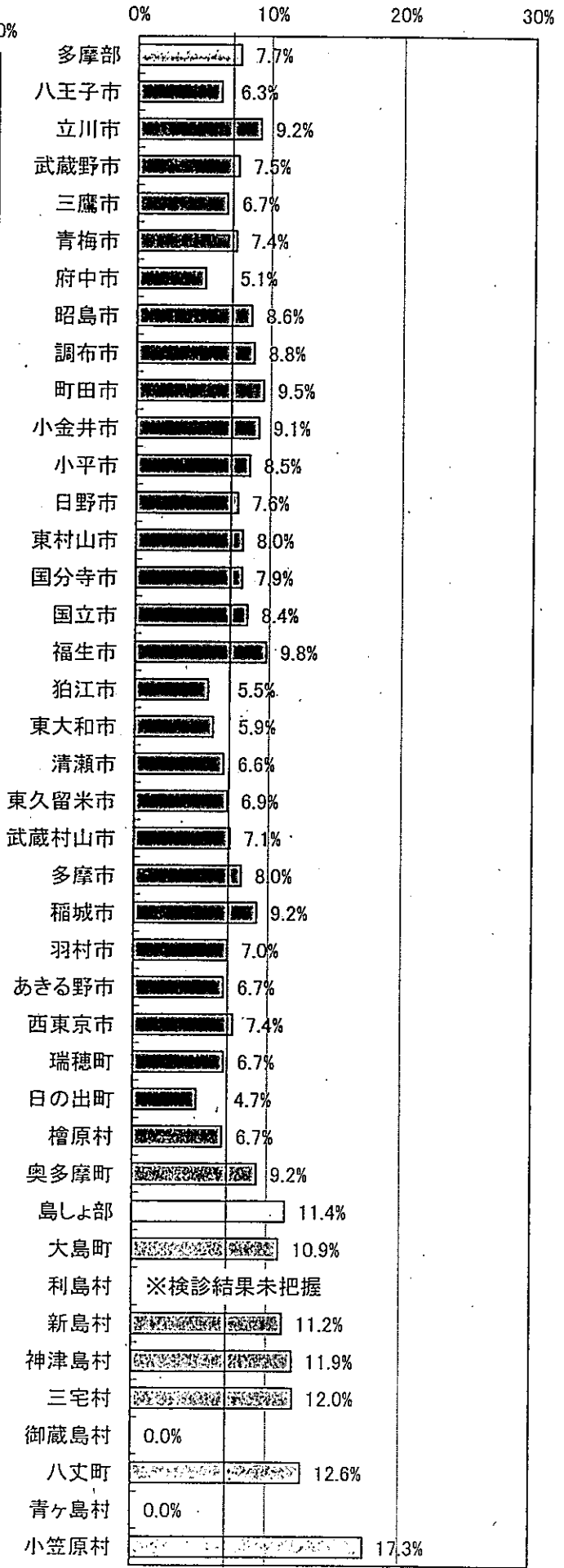


(平成29年度東京都がん検診精度管理評価事業)

大腸がん検診 要精検率(平成27年度, 男女計)



許容値7.0%以下



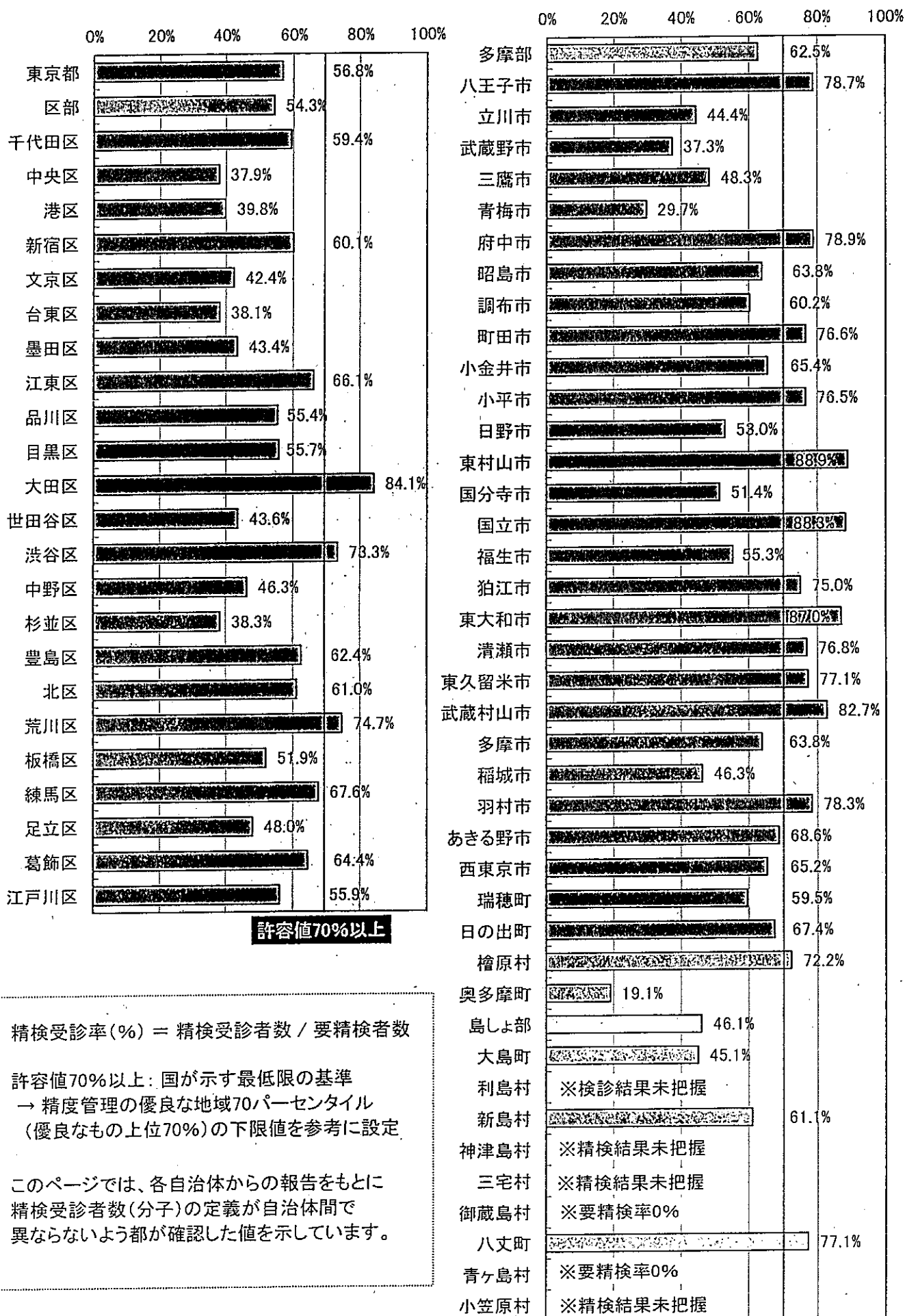
要精検率(%) = 要精検者数 / 受診者数

許容値7.0%以下: 国が示す最低限の基準
 → 精度管理の優良な地域70パーセントイル
 (優良なもの上位70%)の上限值を参考に設定

このページでは、各自治体からの報告をもとに
 受診者数(分母)の定義が自治体間で異なるい
 よう都が確認した値を示しています。

(平成29年度東京都がん検診精度管理評価事業)

大腸がん検診 精検受診率(平成27年度, 男女計)



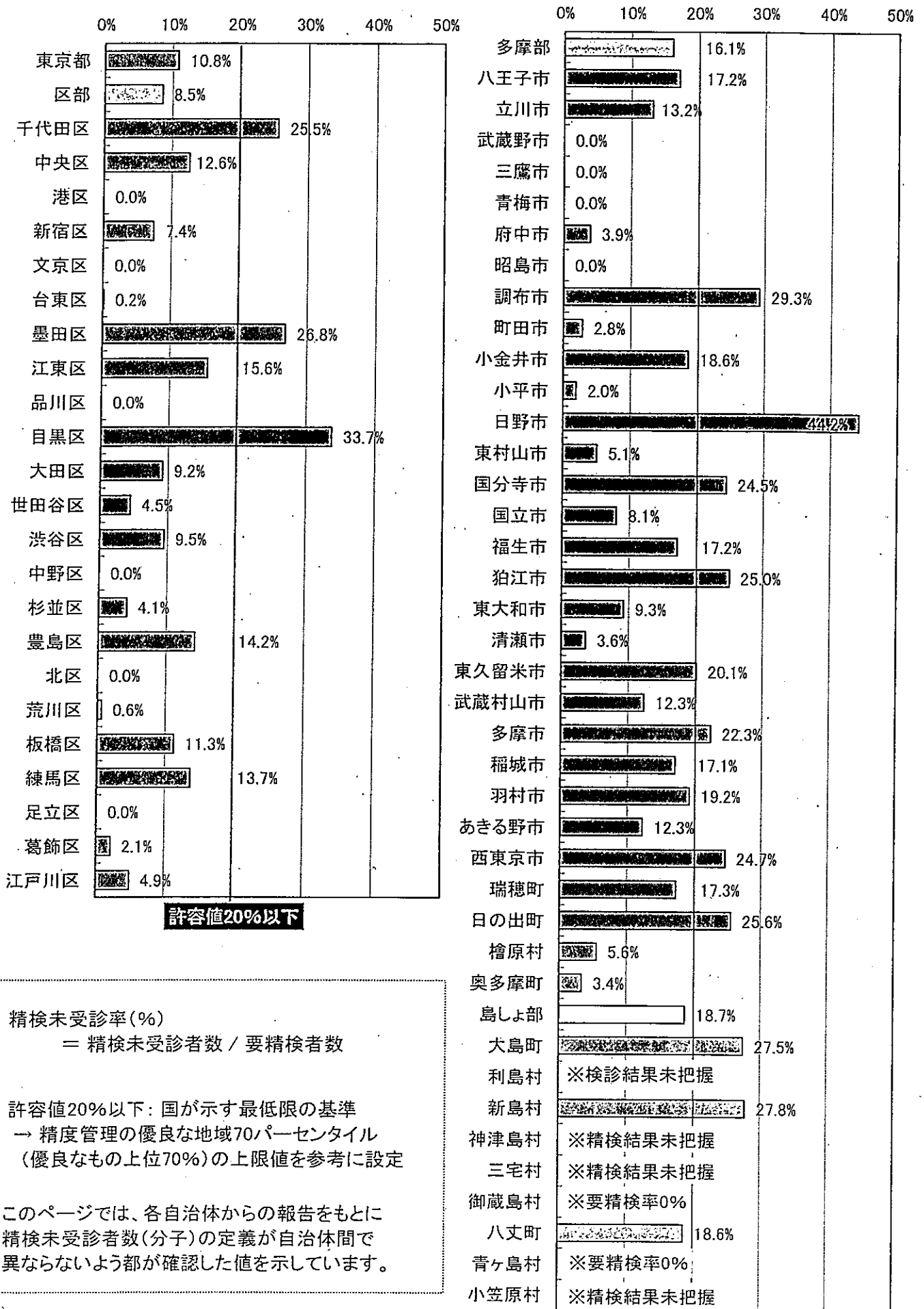
許容値70%以上

精検受診率(%) = 精検受診者数 / 要精検者数

許容値70%以上: 国が示す最低限の基準
 → 精度管理の優良な地域70パーセンタイル
 (優良なもの上位70%)の下限値を参考に設定

このページでは、各自治体からの報告をもとに
 精検受診者数(分子)の定義が自治体間で
 異ならないよう都が確認した値を示しています。

大腸がん検診 精検未受診率(平成27年度, 男女計)



許容値20%以下

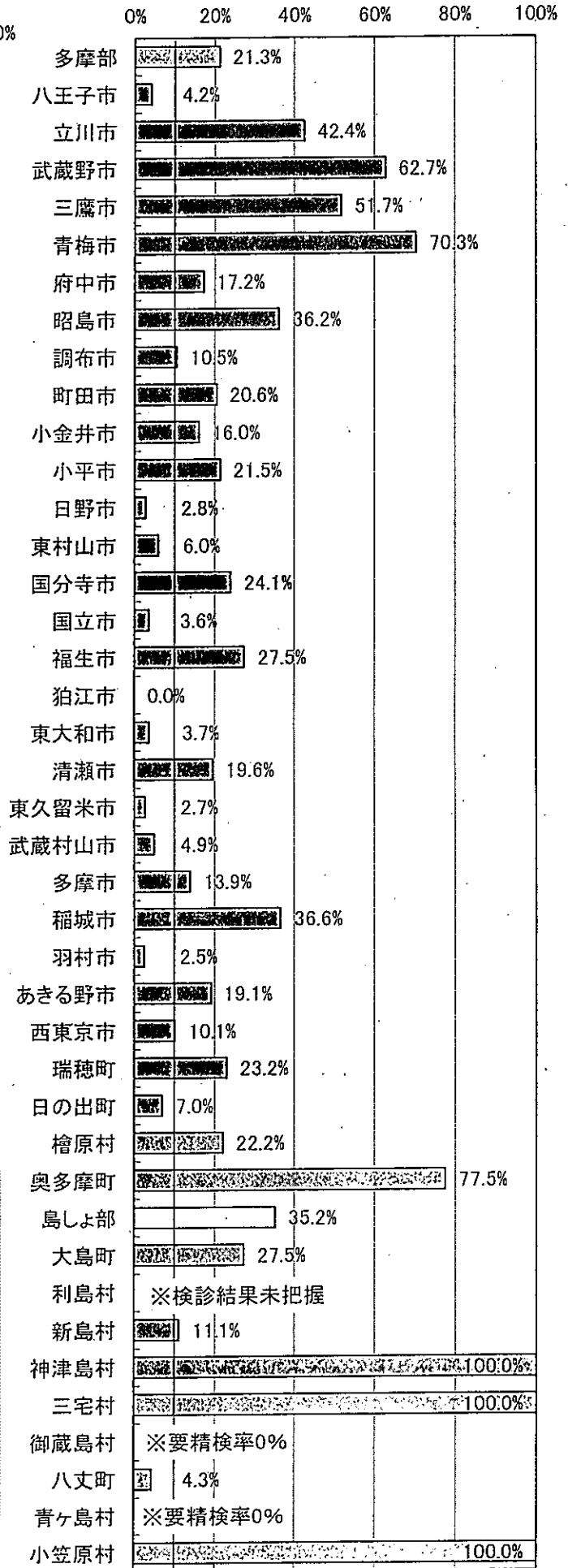
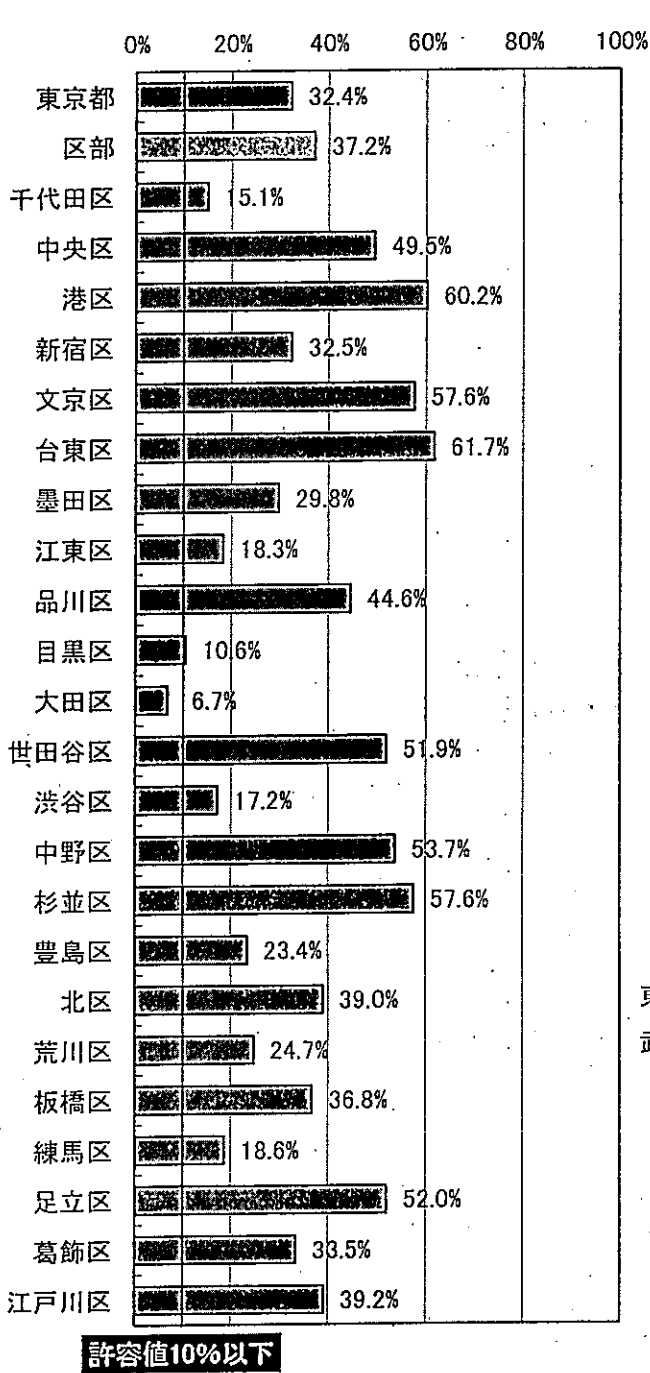
精検未受診率(%)
 = 精検未受診者数 / 要精検者数

許容値20%以下: 国が示す最低限の基準
 → 精度管理の優良な地域70パーセントイル
 (優良なもの上位70%)の上限値を参考に設定

このページでは、各自治体からの報告をもとに
 精検未受診者数(分子)の定義が自治体間で
 異ならないよう都が確認した値を示しています。

(平成29年度東京都がん検診精度管理評価事業)

大腸がん検診 精検未把握率(平成27年度, 男女計)



精検未把握率(%)

= 精検未把握者数 / 要精検者数

許容値10%以下: 国が示す最低限の基準

→ 精度管理の優良な地域70パーセンタイル
(優良なもの上位70%)の上限値を参考に設定

このページでは、各自治体からの報告をもとに
精検未把握者数(分子)の定義が自治体間で
異なるよう都が確認した値を示しています。

【 東京都 】 子宮頸がん検診 平成27年度プロセス指標等一覧シート

<国の指針に基づく子宮頸がん検診の実施状況>

対象年齢(20歳以上:隔年)	
検査方法(細胞診)	

<住民の検診受診状況>

	男性	女性	男女計
該当年齢の人口		5,738,882	
【東京都調査による対象者率(東京都)】	【64.2%】		
実際の受診者数		402,265	

<国の指針に基づくもの以外の実施状況>

対象年齢以外の実施	
左記以外の検査の実施	

<区市町村の受診率向上(精検含む)体制>

対象者の名簿を作成して台帳管理	
個別に受診勧奨	
過去5年間の受診歴を記録	
精検未受診者への精検受診勧奨	

<がん検診の質を評価する指標(プロセス指標)>

	あるべき値 (許容値等)	男性	女性	男女計
受診率	目標値50%		21.1%	
要精検率	1.4%以下		2.5%	
精検受診率	70%以上		65.8%	
精検未把握率	10%以下		31.0%	
精検未受診率	20%以下		3.2%	
陽性反応適中度	4.0%以上		1.2%	
がん発見率	0.05%以上		0.03%	

* 利島村は毎年実施かつ2年連続受診者数未把握のため、受診率の集計から前年度受診者数を除いている。
* 御蔵島村、小笠原村は「細胞診+コルポスコプ等」を実施しているため、利島村は要精検者数未把握のため、要精検率以降の集計からは除いている。

プロセス指標についての解説

リンク先:「とうきょう健康ステーション」>

「統計に用いる主な比率及び用語の解説」

<http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/kensui/gan/toukei/data/kaisetu.html>

【評価結果】

<受診率>

『効果的ながん検診受診率向上の手引き』等を参考にして、受診率50%を目指す必要があります。

#VALUE!

<要精検率>

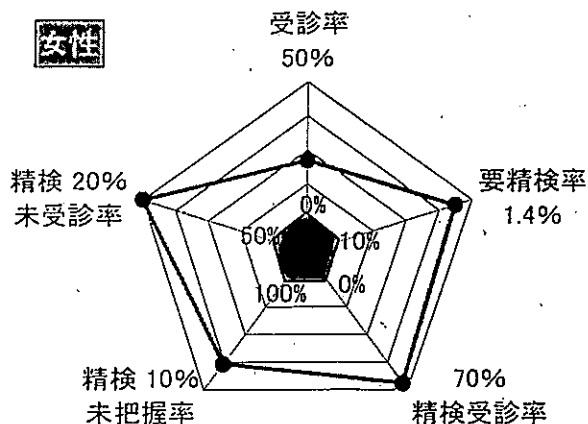
要精検率が高くなるほど、「要精検」といわれたが実際にはがんではなかった方(偽陽性)の割合が増える可能性があり、受診者に身体的・経済的・精神的負担をかけるなど、検診の不利益が拡大する恐れがあります。また、受診者特性の変化により要精検率が高くなる場合もあります。

<精検受診率>

まずは許容値以上となるように、精検受診勧奨を行ってください。

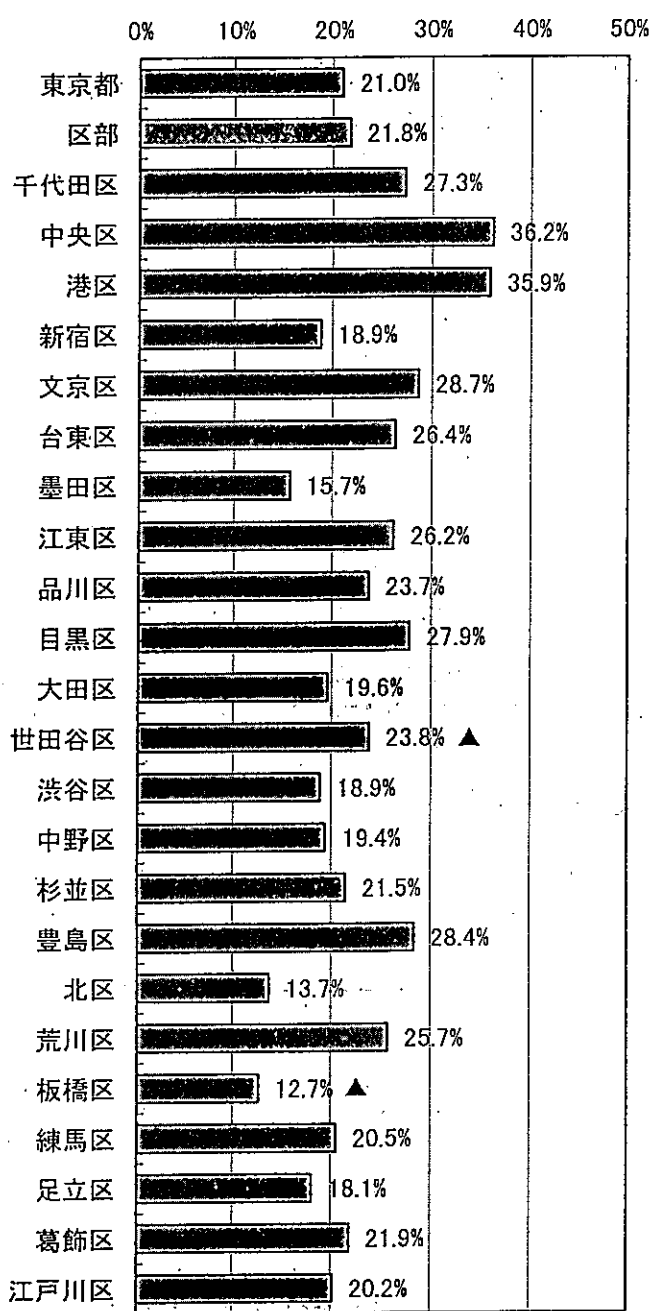
<精検未把握率>

精検未把握率が非常に高く、自治体が行う対策型検診としての事業評価が困難です。『がん検診精度管理向上の手引き』等を参考にして問題点を整理し、精密検査結果の把握方法を検討してください。



※<国の指針に基づく子宮頸がん検診の実施状況><国の指針に基づくもの以外の実施状況><区市町村の受診率向上(精検含む)体制>は平成28年度の状況である

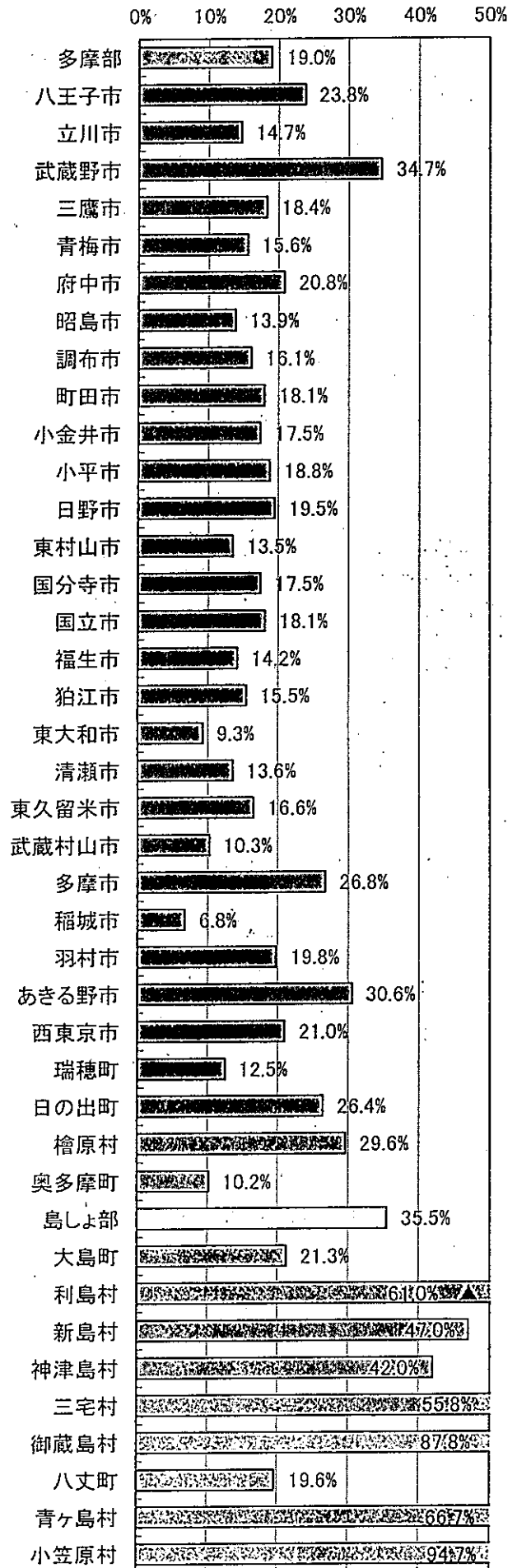
子宮頸がん検診 受診率(平成27年度)



目標値50%以上

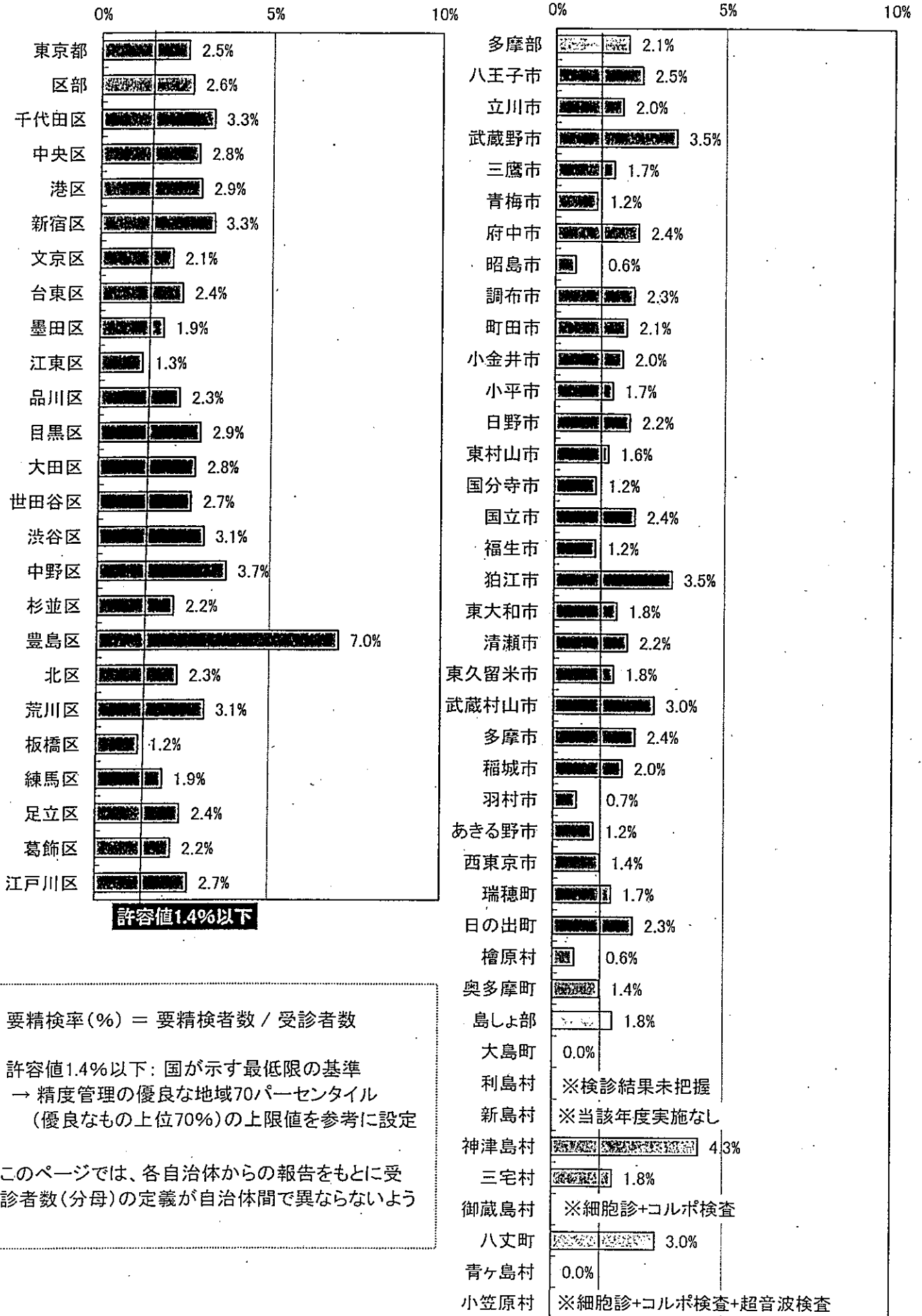
▲:二年連続受診者数が未把握のため、実際の受診率はより低い可能性がある自治体

このページでは、各自治体からの報告をもとに受診者数(分子)や対象者数(分母)の定義が自治体間で異なるよう都が確認した値を示しています。



(平成29年度東京都がん検診精度管理評価事業)

子宮頸がん検診 要精検率(平成27年度)

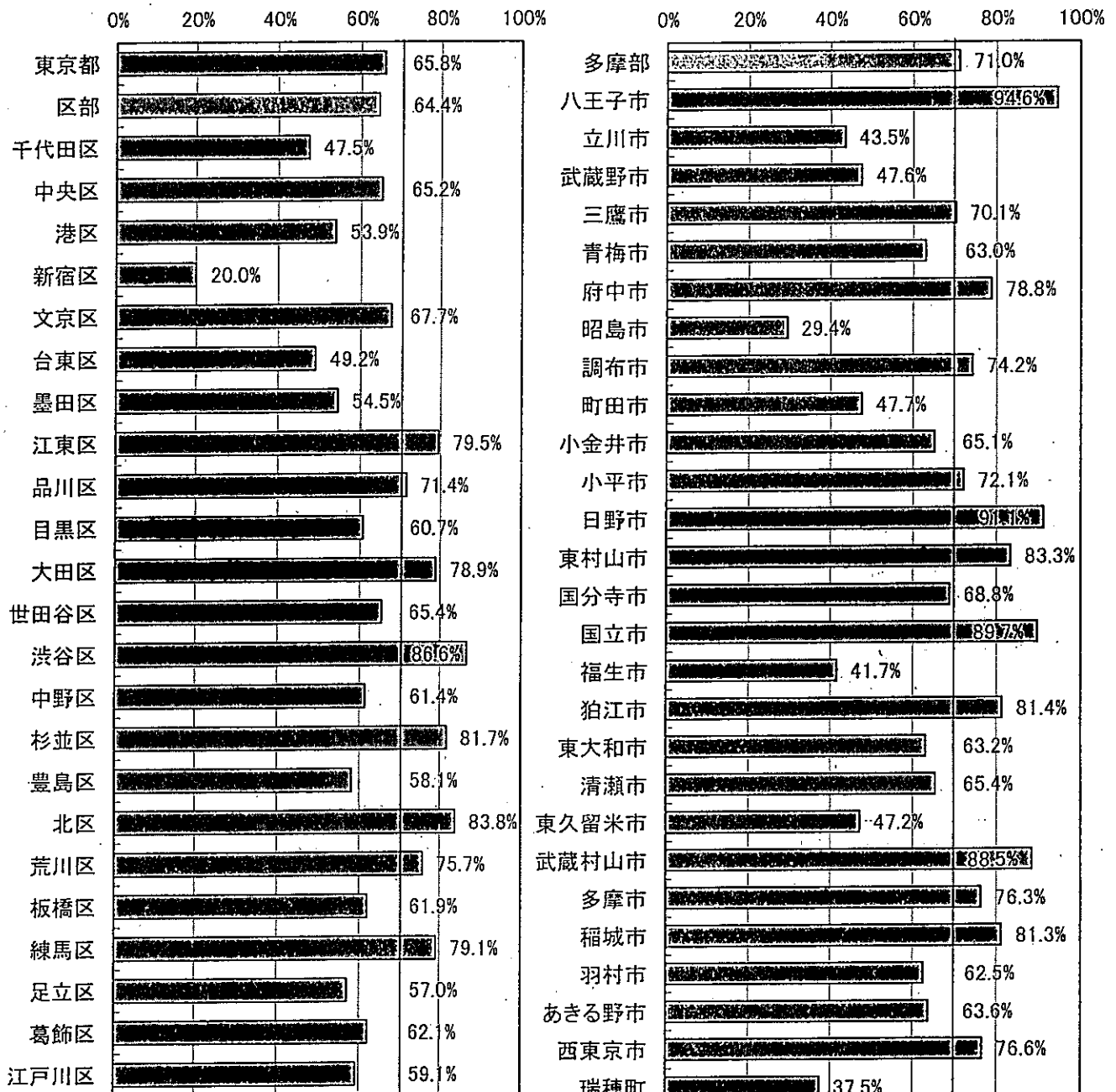


許容値1.4%以下

要精検率(%) = 要精検者数 / 受診者数
 許容値1.4%以下: 国が示す最低限の基準
 → 精度管理の優良な地域70パーセントイル
 (優良なもの上位70%)の上限値を参考に設定
 このページでは、各自治体からの報告をもとに受診者数(分母)の定義が自治体間で異ならないよう

(平成29年度東京都がん検診精度管理評価事業)

子宮頸がん検診 精検受診率(平成27年度)



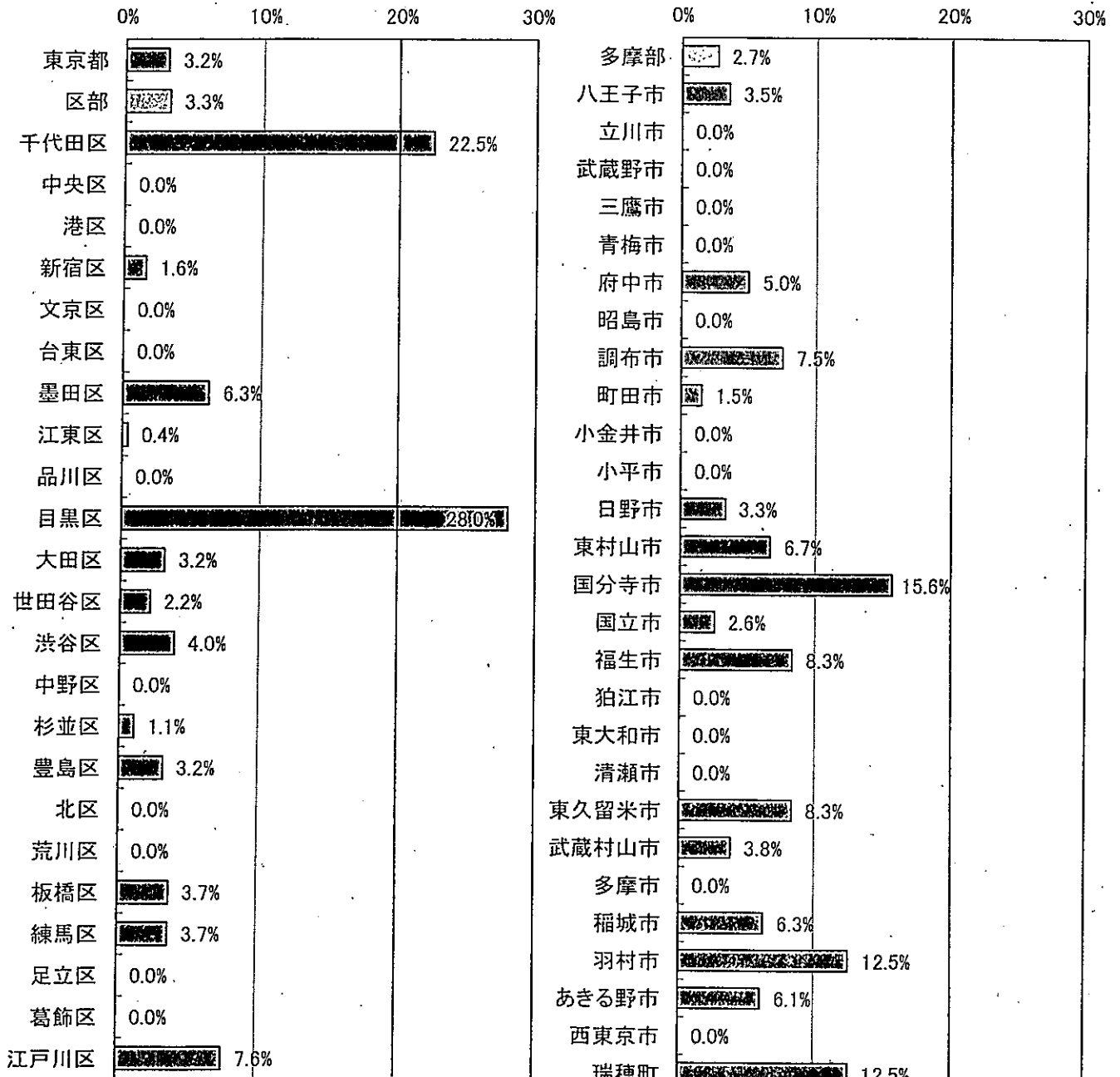
許容値70%以上

精検受診率(%) = 精検受診者数 / 要精検者数

許容値70%以上: 国が示す最低限の基準
 → 精度管理の優良な地域70パーセンタイル
 (優良なもの上位70%)の下限値を参考に設定

このページでは、各自治体からの報告をもとに精検受診者数(分子)の定義が自治体間で異なるよ

子宮頸がん検診 精検未受診率(平成27年度)



許容値20%以下

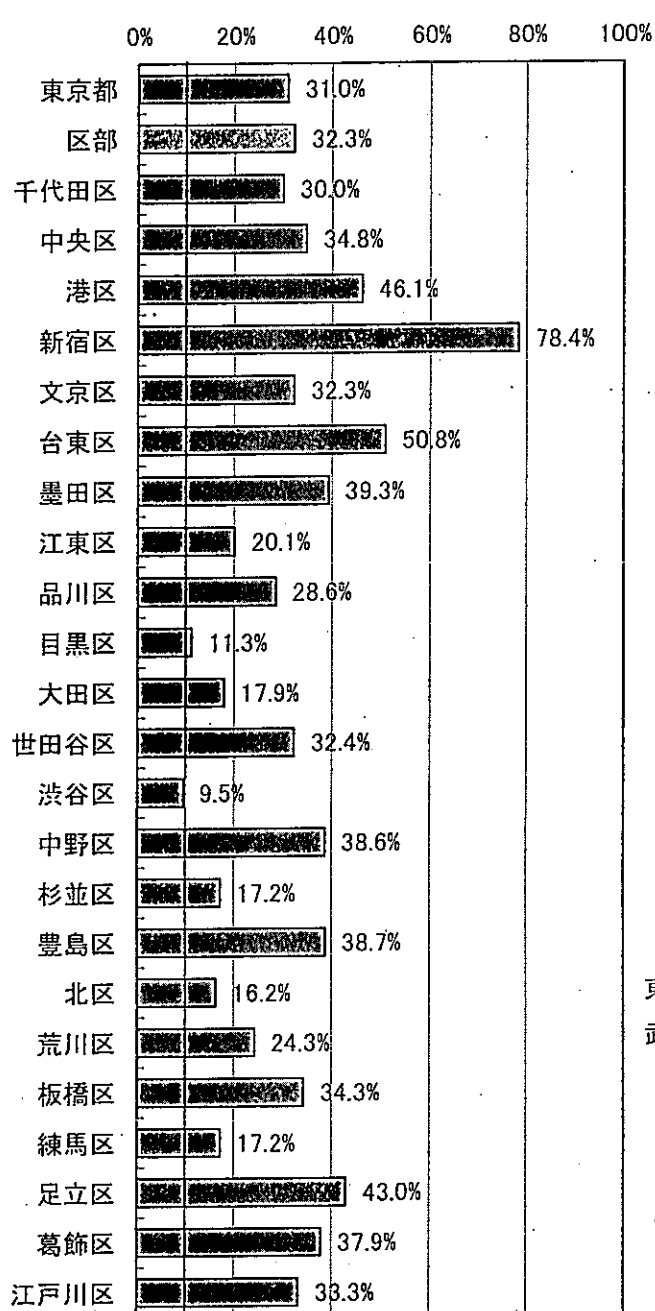
精検未受診率(%)

$$= \text{精検未受診者数} / \text{要精検者数}$$

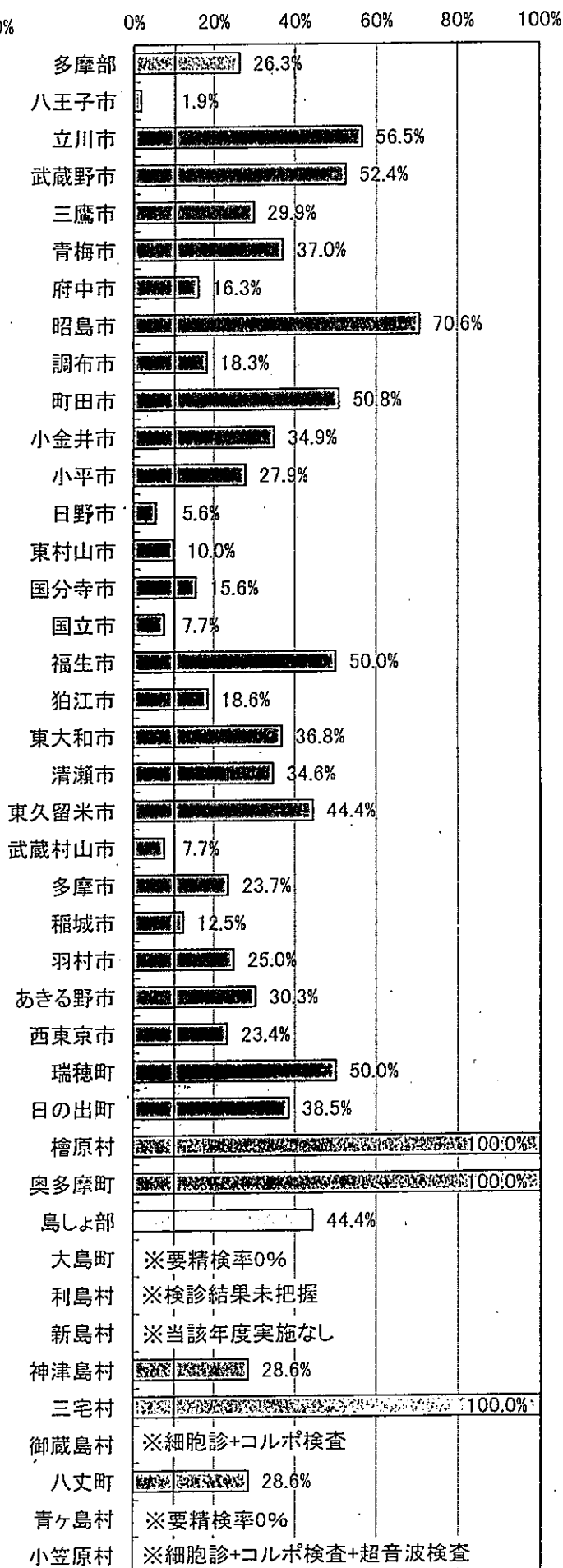
許容値20%以下: 国が示す最低限の基準
 → 精度管理の優良な地域70パーセントイル
 (優良なもの上位70%)の上限値を参考に設定

このページでは、各自治体からの報告をもとに精検未受診者数(分子)の定義が自治体間で異なるよう都が確認した値を示しています。

子宮頸がん検診 精検未把握率(平成27年度)



許容値10%以下



精検未把握率(%)

$$= \frac{\text{精検未把握者数}}{\text{要精検者数}}$$

許容値10%以下: 国が示す最低限の基準
 → 精度管理の優良な地域70パーセンタイル
 (優良なもの上位70%)の上限値を参考に設定

このページでは、各自治体からの報告をもとに精検未把握者数(分子)の定義が自治体間で異なるよう都が確認した値を示しています。

【東京都】 乳がん検診 平成27年度プロセス指標等一覧シート

<国の指針に基づく乳がん検診の実施状況>

対象年齢 (40歳以上:隔年)	
検査方法 (マンモグラフィ)	

<国の指針に基づくもの以外の実施状況>

対象年齢以外の実施	
左記以外の検査の実施	

<住民の検診受診状況>

	男性	女性	男女計
該当年齢の人口		3,732,417	
〔東京都調査による対象者率(東京都)65.6%〕			
実際の受診者数		275,061	

<区市町村の受診率向上(精検含む)体制>

対象者の名簿を作成して台帳管理	
個別に受診勧奨	
過去5年間の受診歴を記録	
精検未受診者への精検受診勧奨	

<がん検診の質を評価する指標(プロセス指標)>

	あるべき値 (許容値等)	男性	女性	男女計
受診率	目標値50%		21.5%	
要精検率	11%以下		9.3%	
精検受診率	80%以上		82.1%	
精検未把握率	10%以下		16.1%	
精検未受診率	10%以下		1.8%	
陽性反応適中度	2.5%以上		4.0%	
がん発見率	0.23%以上		0.37%	

* 江戸川区、利島村、三宅村、御蔵島村、青ヶ島村は「視触診+マンモ」の実施がないため、集計からは除いている。
* 品川区は「視触診+マンモ+エコー」を実施しているため、要精検率以降の集計からは除いている。

プロセス指標についての解説

リンク先:「とうきょう健康ステーション」>

「統計に用いる主な比率及び用語の解説」

<http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/kensui/gan/toukei/data/kaisetu.html>

【評価結果】

<受診率>

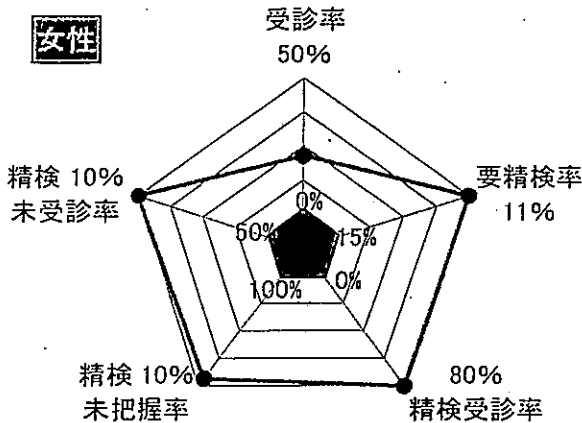
『効果的ながん検診受診率向上の手引き』等を参考にして、受診率50%を目指す必要があります。

#VALUE!

<精検未把握率>

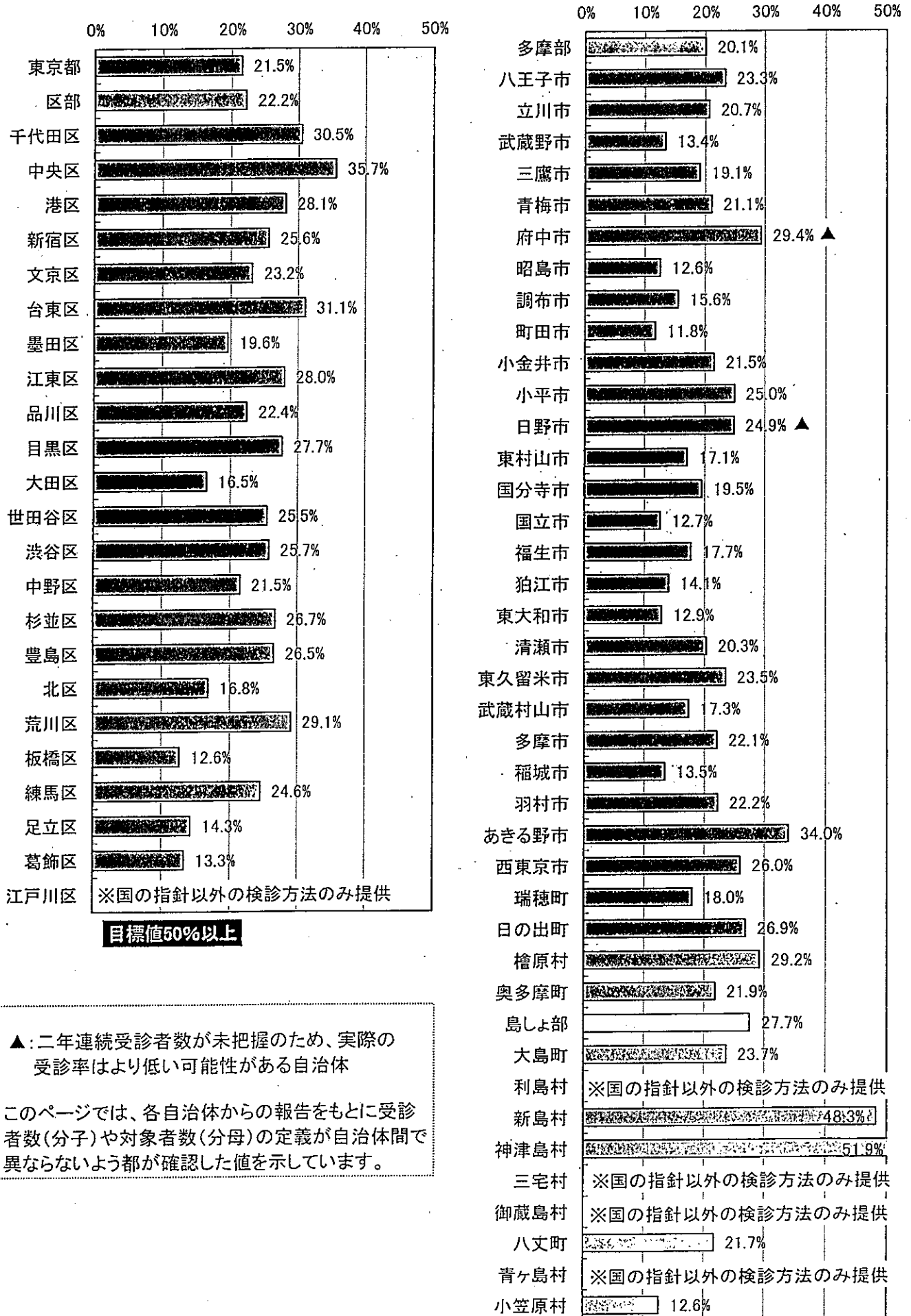
精検未把握率が許容値達成まであと一歩です。自治体が行う対策型検診として、事業評価のために『要精検』となった方々のその後の状況把握を進めましょう。

女性



※<国の指針に基づく乳がん検診の実施状況><国の指針に基づくもの以外の実施状況><区市町村の受診率向上(精検含む)体制>は平成28年度の状況である

乳がん検診 受診率(平成27年度)

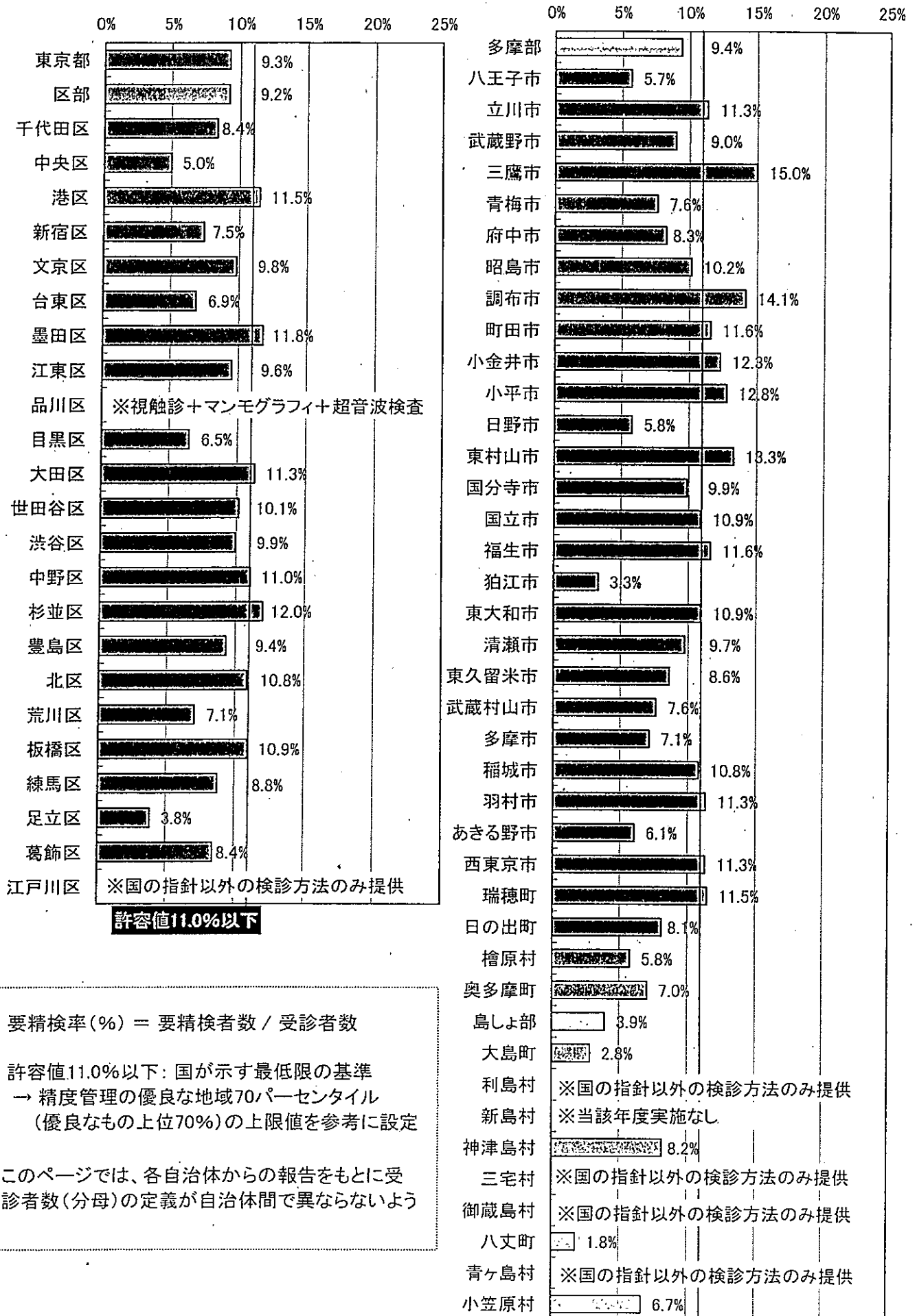


目標値50%以上

▲:二年連続受診者数が未把握のため、実際の受診率はより低い可能性がある自治体

このページでは、各自治体からの報告をもとに受診者数(分子)や対象者数(分母)の定義が自治体間で異なるよう都が確認した値を示しています。

乳がん検診 要精検率(平成27年度)

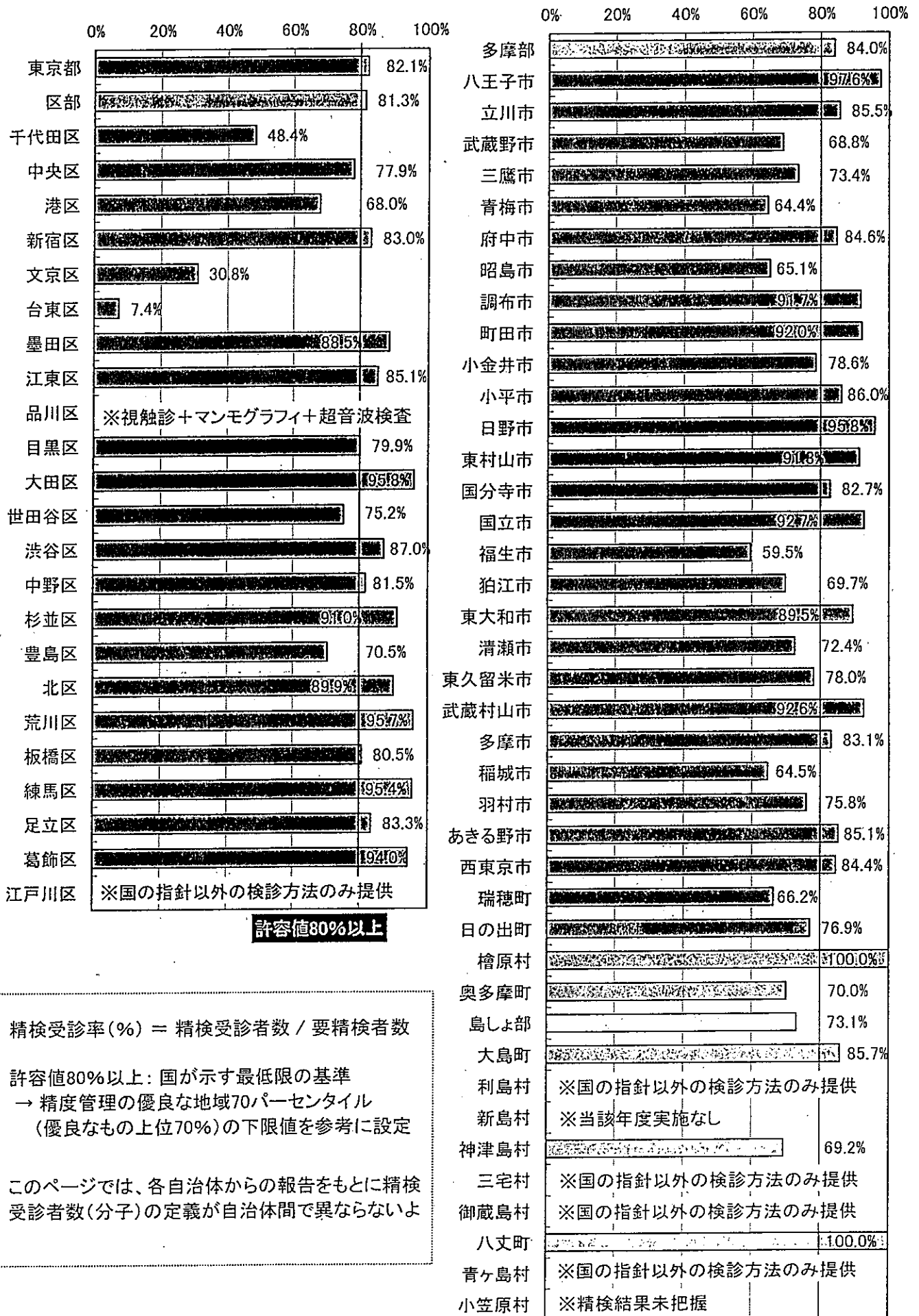


要精検率(%) = 要精検者数 / 受診者数

許容値11.0%以下: 国が示す最低限の基準
 → 精度管理の優良な地域70パーセンタイル
 (優良なもの上位70%)の上限値を参考に設定

このページでは、各自治体からの報告をもとに受診者数(分母)の定義が自治体間で異ならないよう

乳がん検診 精検受診率(平成27年度)



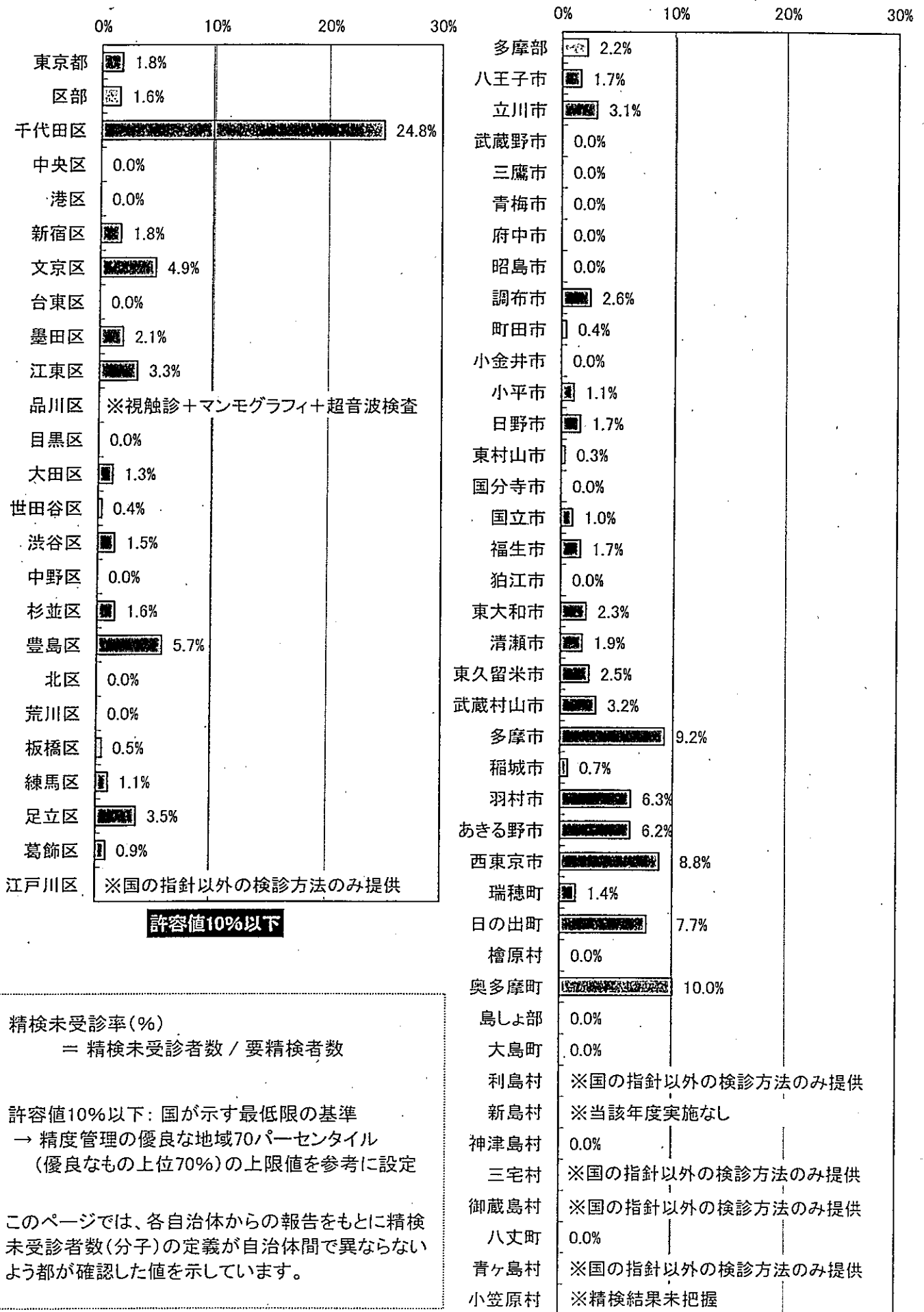
許容値80%以上

精検受診率(%) = 精検受診者数 / 要精検者数

許容値80%以上: 国が示す最低限の基準
 → 精度管理の優良な地域70パーセンタイル
 (優良なもの上位70%)の下限値を参考に設定

このページでは、各自治体からの報告をもとに精検受診者数(分子)の定義が自治体間で異なるよ

乳がん検診 精検未受診率(平成27年度)



許容値10%以下

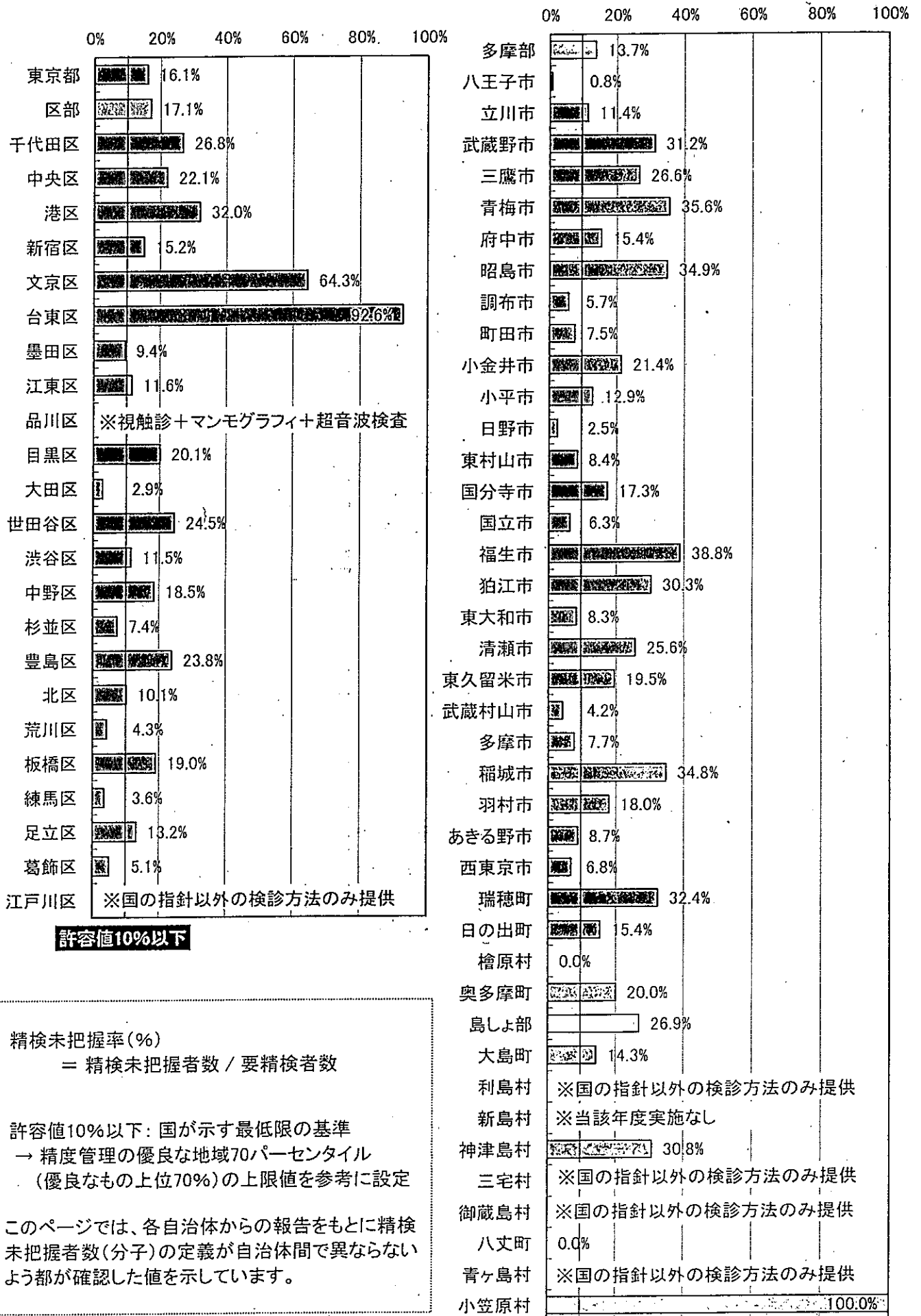
精検未受診率(%)

$$= \frac{\text{精検未受診者数}}{\text{要精検者数}}$$

許容値10%以下: 国が示す最低限の基準
→ 精度管理の優良な地域70パーセントイル
(優良なもの上位70%)の上限値を参考に設定

このページでは、各自治体からの報告をもとに精検未受診者数(分子)の定義が自治体間で異なるよう都が確認した値を示しています。

乳がん検診 精検未把握率(平成27年度)



許容値10%以下

精検未把握率(%)

= 精検未把握者数 / 要精検者数

許容値10%以下: 国が示す最低限の基準
 → 精度管理の優良な地域70パーセンタイル
 (優良なもの上位70%)の上限値を参考に設定

このページでは、各自治体からの報告をもとに精検未把握者数(分子)の定義が自治体間で異ならないよう都が確認した値を示しています。